

「辞書を置かない考える英語教室 教本」

It`s a English

Our side language English



物書き

うときゅういっき



「辞書を置かない考える英語教室 教本」

It`s a English

Our side language English

Alive English textbook

「すすき野留学」

うときゅういっき

目次

- 本旨要約
- 教本本編
- 結語
- 教本 参考付録「前座の英語第7集」
- 教本 参考付録「前座の英語第8集」

本旨要約

●英語学習の目的を「受験」から「コミュニケーション」に変えるだけで英語はとても分かりやすく身近になり、話せるようになります。

●元々語学（言葉）はコミュニケーション手段の一つでした。

言葉がコミュニケーション手段の一つだという認識に代われば、他にもコミュニケーション手段というものがある事に気づきます。

今まで隠されていた世界があったことに気づかされます。

●例えばジェスチャーや表情、イラスト、図、数字、ハグなどの方法もあったことを。

●語学学習の目的が「受験」ではなく「円滑なコミュニケーション」であれば、語学とそれらを組み合わせた方法もある。

語学がまだ下手ならそれらでカバーすればいい。場つなぎすればいい。

●それを「受験英語」だけが「英語だ」という誤認識が覆い隠してしまっていたのです。

その誤認識が数多あるコミュニケーション手段を覆い隠してしまい目が語学だけにしか行かなくなってしまったのです。

●しかもその英語は「ふるい落としの為の間違い探し英語」なのです。最高でも「欠点0」でしかない「息苦しいようなもの」なのです。

●本来日本語より遥かに簡単な英語を「難しい日本語」より更に難しくしてしまったのです。

進んでいる方向が全く逆なのです。難しい方ではなく踵を返して「簡単な方向」に進まなくてはいけないのに。

●これではいつまでたっても「答え」は見つかりっこありません。だって全く反対の方向に進んでいるので、どんどん「答え」から遠ざかるばかりですから。

●かてて加えて、この受験英語は英語を争いの道具に変えてしまったのです。本来仲良くなる相手を「敵」にかえてしまったのです。

●敵との争いに勝つために常に欠点0を意識する語学。楽しいはずがありません。

体育館はとても広いのに、其れに全く目をやらず、その端っこの平均台の上を後ろからナイフを突きつけられながら「落ちないようにおっかなびっくりあるいている」様なものです。

「間違っちゃいけない。間違えてはいけない。一つでも間違えると受験に落ちる。二度と浮かび上がれない。人生が終わってしまう」というナイフを背後から。

●私たちは広い体育館の中にいる事に気づきましょう。

平均台から落ちたって大丈夫です。体育館は広くいくらでも走り回れますから。

●しかもその体育館も広い校庭の中のそのまた端っこにある事に気づきましょう。

●そして学校も広い世の中の片隅にしかないことに気づくと、
「失敗してもいいんだ。失点なんてそもそもないんだ」という、解き放たれた明るい気分になれてリラックスでき、英語がとても身近に感じられて分かりやすく話しやすくなります。

●しかも英語というのは極言すれば「辞書の余りいらぬ言語」なのです。自分でどんどん思いついて作り出せる言語なのです。
それに気が付くと世界がもっと広がります。

●「この英語で大丈夫ですか？ミスはありませんか？」などと「権威」にいちいちお伺いを立てる必要の余りない言語です。
自分の事（英語）は自分で決められる「殺生与奪の権」が権威にではなく自分の側に持つことができる言語なのです。
それで本書の題名を Our side language English と題しているところも無きにしも非ず、です。

●そういう意味では英語の方が日本語より遥かに自由でフレキシブルな言語です。

反対に言えば「だから外国人さんは日本語学習で大変な苦戦を強いられている」とも言えるのです。

以上が英語も日本語もあまりよくわからない外国人と5年間仕事をしてきた自分の実感で御座います。

●最終目的は表現上手なコミュニケーション上手

●本書ではそれに至る具体的な転換方法を記してみました。

お試しくださいます。

(教本本編)

●元々語学（言葉）はコミュニケーション手段の一つでした。

言葉がコミュニケーション手段の一つだという認識に代われば、他にもコミュニケーション手段というものがある事に気づきます。

今まで隠されていた世界があったことに気づかされます。

●例えばジェスチャーや表情、イラスト、図、数字、ハグなどの方法もあったことを。

●語学学習の目的が「受験」ではなく「円滑なコミュニケーション」であれば、語学とそれらを組み合わせた方法もある。

語学がまだ下手ならそれらでカバーすればいい。場つなぎすればいい。

(次ページはその図解)

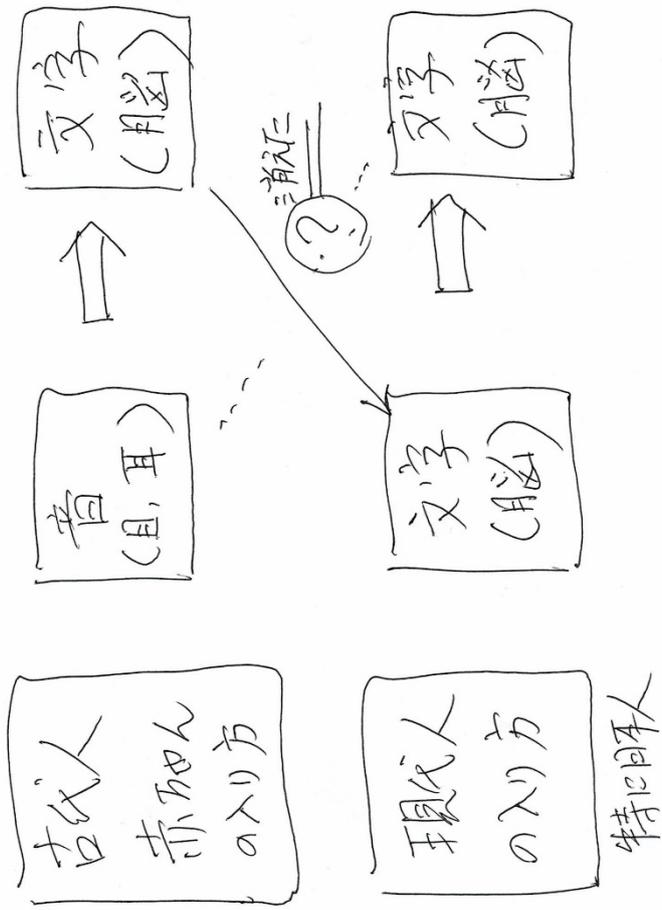
●英語（言語全般）の大元は「音」

「文字」ではない。

3歳児はどうやって言葉を覚えるか？

(次の3ページ分はその図解)

言語の始まりは「音」ではなく「書」であった。



文法(文字)が和語の後。音(リス)が先。

(英)文法的に述べたら

- 発音(セ)の方, 耳に伝わる(セ)の方, しゃべるときに異和感の(セ)の方を避ける(セ)。
- 大抵の場合(セ)が正しい(セ)。
- (セ)が(セ)なら, 言葉(セ)が(セ)に(セ)で(セ)し, 作(セ)ら(セ)ら。文法(セ)を(セ)後(セ)で整理(セ)した(セ)ら(セ)ら。
- 中には(セ)理(セ)が(セ)先(セ)走(セ)って(セ)文(セ)法(セ)の(セ)音(セ)の(セ)後(セ)失(セ)位(セ)が(セ)逆(セ)転(セ)し(セ)て(セ)いる(セ)も(セ)た(セ)り(セ)が(セ)あ(セ)る(セ)が(セ)、(セ)は(セ)日(セ)本(セ)人(セ)の(セ)作(セ)り(セ)が(セ)あ(セ)る(セ)。

定冠詞, 不定冠詞, 無冠詞?

実は意味よりも「音合わせ」で決まっているの。

It's Sony. ⇨ いいにいから

It's a Sony

↑ 「これが入る事だ」

いいにいから

(昔のCFより)

●英語は自分で考えて作りだすもの

人から教わって覚えるものではない。

(次の2ページはその図解)

英語は自分でいくらでも造語できる

言語

[1] 動詞 + 前置語 (= 動詞方向機能)

at → 時点

for → 対象

to → 方向

on → 上, 連続 in 中へ, 在る

off → 外へ, 外れる out 外へ, 外れる

o → 外へ

[2] 動名詞

動詞 + ing

動詞名詞扱いになる。

[3] 形容詞

ex)

動詞 + able

～できる物

まずは思い込んだ語を口にする。

後は続け易い文型でつながっていく。

OMG (Oh, my God), (おんがうごう) ← すごい思い込ます!!

↳ It's Terrible (こわい)

↳ I feel so, so Terrible (たごわくたごわ)

↳ Feeling Terrible is caused from... maybe (こわ(たごわ)は ~のせいだ)

beating

feel(を)かえした
(に)かえした

feel(を)かえした
かえした。

等々

- 日本の英語教育は 150 年前の外交官英語教育のまま。

フレキシブルな言語の英語に慣れた外国人が外交官英語を使うのは逆に大変な苦痛。

なのに、相変わらず 150 年前の外交官英語を教え続けるのは何故？

- 多すぎる日本語の語彙の数と同じ数の英語はない。

その（外交官英語）は極めて特殊な英語で

その日本語 1 対英語 1 の対訳を探して当て嵌め覚える

だけ、なのは将に無駄というもの。

- 日本の英語辞書を使うと増々英語がわからなくなる。

だから「辞書を置かない英語教室」

- ではなぜそんな無駄なことをいつまでもやっているのか？

明治以来、それで飯を食う方々が大勢いたから？

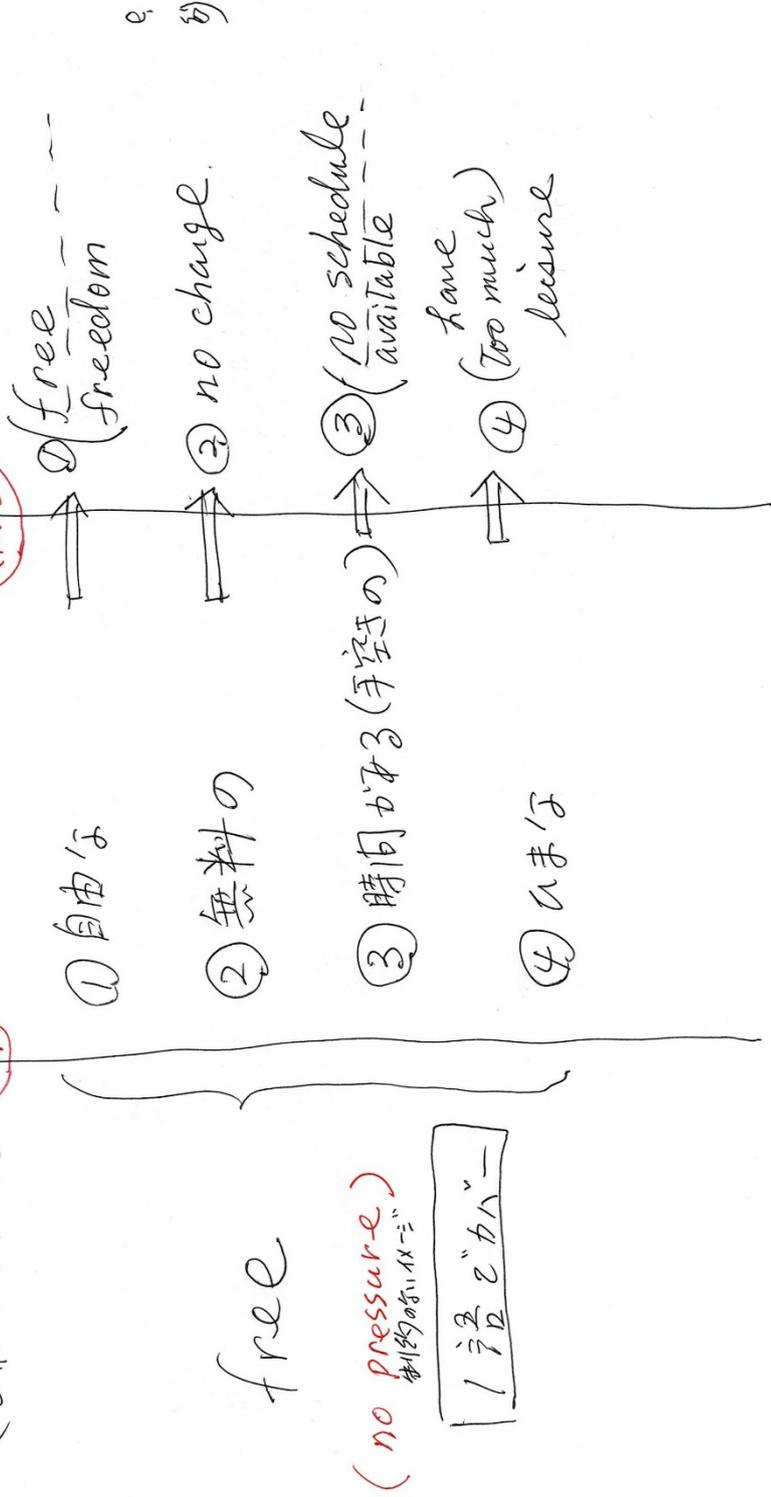
- そうしてその方々が英語を「生活の道具」ではなく「インテリステータスの優

越誇示の道具」に変えてしまったから？

(次ページはその図解)

世界は "庶民おまの" 英語 → 失敗OK
 日本は "外交官秘密" 英語 → 失敗OK

(世界の庶民英語) ← 役に立たない (日本) → (日本の外交官英語)



free

(no pressure)
制約のない状態

「自由」

●日本語は意味言語。文字言語。厳密整合強要言語

縦横斜め整合。細分化。減点主義（ノーマスの0が最高得点）

英語はイメージ言語。音言語。派生受容寛大言語

（次ページはその図解）

日本語は意味, 文字, 好言語

英語は イ-シ, 映像言語

(日本語)

1st 文字 (脳) 理性



2nd イ-シ (目耳) 感覚



(英語)

1st イ-シ (目耳) 感覚



2nd 文字 (頭) 理性

mother
mom

●日本語の特殊性、その圧倒的難しさを日本人は気付いていない。

だから外国人にいとまたやすく「日本語を覚える」といってしまう。

基本文字英語 26 文字。日本語 2100 文字（ひらがな、カタカナ、当用漢字）

音読み、訓読み

敬語、丁寧語、尊敬語、謙譲語などの区分け。

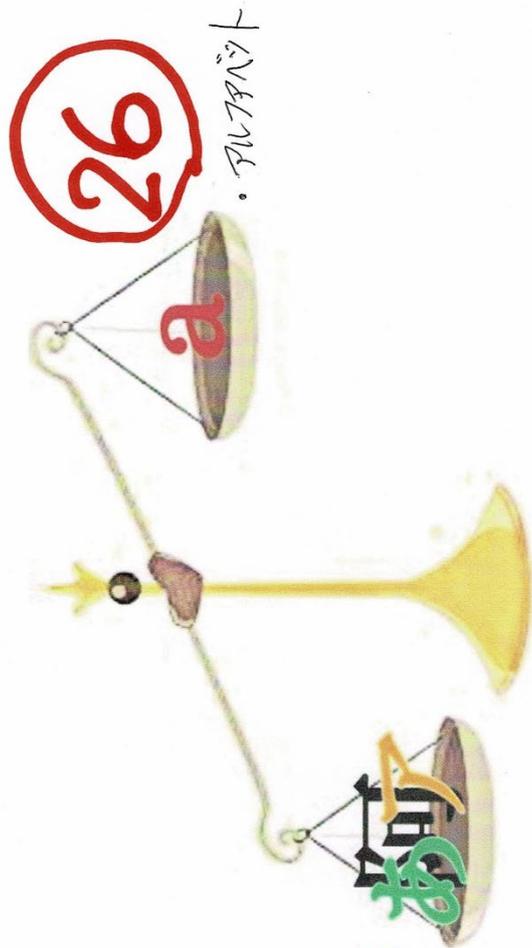
様々な数の数え方などなど。

(次ページはその図解)

スタートラインに立つ為の文字数

常用漢字 2,000
 カタカナ 50
 アルファベット 50

2,100



- 音訓読み
- 敬語, 丁寧語, 尊敬語, 謙敬語, 謙語
- 敬のカタカナ
- 等々

●本来日本語より遥かに簡単な英語を「難しい日本語」より更に難しくしてしまっただけです。

進んでいる方向が全く逆なのです。難しい方ではなく踵を返して「簡単な方向」に進まなくてはいけないのに。

●これではいつまでたっても「答え」は見つかりっこありません。だって全く反対の方向に進んでいるので、どんどん「答え」から遠ざかるばかりですから。

(次ページはその図解)

反対方向に
遠のいてるんじゃない? かもしれない。

英語 → 日本語

易 → 難 (日本語検定2級)

日本語 → 英語 (受験英語) (文官英語)

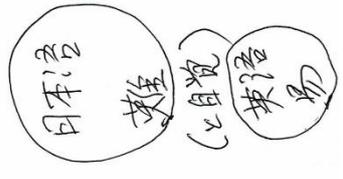
難 (比自直し易い) 何という子、
もつと難に (比自) 英語の平賞好
直さかたい?)

外国人
日本語学習

日本人 (理)
英語学習

英語が易い
わかれな。

日本人 (感)
英語学習



英語 (生活英語) (庶民英語)

易
に反対方向を
向う方向を
反転させた。

☒ 結語

- コミュニケーションの大元は他人への興味。話したい内容がある事。

相手からすればその話が聞きたいものなのか？聞くに値するものなのか？がポイント。

要するにコミュニケーションはキャッチボール。

- 使う英語が完璧で、話の中身が詰まらなかったら相手は話を聞く気にならない。

言語名良意味不明。行儀よけれど礼儀なし、にさも似たり。

- なので、一番大切なのは

知識を得て経験を積み、語る内容、言いたい内容、伝えたい内容を作ることが第一番。

経験というのは「失敗の別名」ですから、恐れず失敗を積むこと。

スポーツは失敗の連続という別名「練習」を積まないと上手くなれ

ないのと同義。

- その失敗を恐れない心を阻んでいる最大のものは何か？

それは

「後ろで見ている同じ日本人の視線への恐怖」

- 英語が喋れないのは外国人が怖いからではなく、後ろで見ている

日本人からのチェック視線が怖いからではないかな？

- 本来フレキシブルでリラックスできる言語を、こうまで「得体のし

れない畏れ多いもの」にしているのは、自分が相手に完璧を求める

ために、相手も自分に完璧を求めているんだろうと思い込んでい

るお互いの「不寛容」と相互「監視視線」のせいなのかもしれません

ん。

- それを止めるにはいろんな面において今とは「反対方向」に進むの

も一つの手かもしれませんね。

教本 参考付録

前座の英語第 7 集及び 8 集添付

(第 1 ～ 6 集は別本となります)

辞書を置かない

考える英語教室

「前座の英語」第七集

Pre & prep. English 7

「日本の人は日本語みたいに、ひらがな、カタカナ、漢字と三通りも在るようなメチャクチャ難しい言葉を難なく喋っている。すごいよなあ」

と横浜市青葉区すすき野の街の外国人さん。

「だったら英語みたいに難しくない言葉を、それこそお茶の子さいさいで喋れても良いはずなのに、なんで誰もしゃべれないんだろう？英語みたいにいい加減な言葉を喋るのはプライドが許さないのかもしれないなあ」

と、外国人さんは答えに困って妙な誤解答を引き出しているようです。

本書の願いは、その我々自身が生み出してしまっている謎の答えを解き明かし、成る丈多くの我が国同朋が英語のみならず我が国国語会話においても臆することなく「正々堂々と」話してみようかなという気持ちになって戴ける事です。

2021年6月26日

(序)

何故、大方の我が国国民は穎悟がしゃべれないのか？

(仮説1)

前にいる外国人より、後ろの我が国同朋のチェック目線やひそひそ話が怖いから。

(仮説2)

学校の規則と一緒に、学習内容が細目に渡って細かすぎるから。

何故細かいか？

受験英語だから。

受験英語は落とすための英語。簡単に言うとあら探し英語だから。

(仮説3)

結果、失敗を怖れて何かをする前からビビリまくって手も足も出ない「だるまさん状態が常態」だから

ではないでしょうか。

(結論)

だったら、

「失敗はない。経験があるだけ。だから失敗は成長の糧」

「ダメ元、元々ゲンキの素。開き直れば花が咲く」

で、まずはハードルをうんと低くして

「使えるものなら何でもあり」

から始めてみましょうよ。

(序 二段)

本書は「コロナ渦同時進行執筆 ナマステ別館堂主人 ニューノーマル探索サバイバル日記 巻末」及び「辞書を置かない英語教室 すすき野留学」に掲載した「オマケの英語教室」をとりまとめ、いくつかの書き下ろしを加えたものです。

本教室及び本書(続編含)はコロナ渦期間中開講及び発刊予定ですので、いつ終わるかは、現時点ははっきりしておりません。

筆者は海外赴任、海外留学をした事はありません。英語学校にも通ったことはありません。

では、何処で英語を覚えたのか？

ご当地「横浜市青葉区すすき野」の地においてです。

周りに敷金礼金なしで自然環境がとてもいいUR団地群が一杯あり、英語を話すアジア系、スラブ系外国人さんが沢山住んでおり国内にいて留学したのと同じ環境があったからです。そこに、ひよんな事から定年退職後、ネパールカレー屋を開くことになり、従業員もお客様の一部も外国人だらけだったからなのでした。

そこで分かったことは「正しい」英語を話すことより「どうやったらたまたま隣にいる隣人(我が国国民でも外国人でも)と意思疎通を図れるか？コミュニケーションできるか」の方が遙かに大切だと言うことでした。

つまり目的が全然違ったのです。

「正しい」ではなく「分かってもらえるか、相手のことが分かるか？」だったのです。

だとすれば、語学は単にその一手段でしかない。他にもジェスチャーやら表情やらハグやら

イラスト、図表、ナンだって使えるんだ。何を使ったっていいんだという具合に考え方がまるで変わってきたのです。

そう思うと受験英語の正しさなんて、広い体育館の端っこの、平均台の上を後ろからナイフを突きつけられながら、恐る恐る歩いているようなもので、実につまらないというか意味の無いことのようにも思えてきました。

それって外国人から見たら「変にしかみえないよなあ。何を端っこの方でビビっているんだ？体育館はこんなに広いのに。平均台から床の上に降りて走り回れば良いのに」と言われているような気もしました。

因みに自分は大学一年次の必修英語を5年間落とし続けて6年目にやっと単位を取った位のレベルの英語学力でした。(恥ずかしながら大学院進学ではなく2年間留年したと言うことです)

それもそのはず、英語は「学力」ではなかったからです。

英語は「上から習って教わるもの、定型を覚えるもの等ではなく、考えて自分なりに創り出す事のできる極めて自由度の高いもの」

でした。

国の数だけ、もっと言うと人の数だけ個性に応じた英語の種類があってよかったのです。全く意外にも。

これらの「序」「序 二段」にご興味を感じられましたら、まずは騙されたと思って読み進めてみて下さい。

本格的英語学習に入る前には是非とも必要な

「前座の英語」

教室です。

つまらなければ何時でも「ポイ」できますから。

それで一向にかまいませんので。

(本編)

2021/12/21

(オマケの英語教室)

Responsibility



Responsibility は邦訳では「責任」と訳されます。

そういえば反応や応答に関して我が国では

「レスポンスが早いなあ」

とか

「クイック・レスポンスで頼むぜ」

と言ったりします。特に職場などで。

そしてよく見てみると responsibility は response (レスポンス) の名詞形である事が見て取れます。

つまり responsibility は response (反応や応答) を (早く) 「返す」ことが第一義的にあるということでしょう。

ならば何に対しての反応や応答を早く返すのか？

そこで又 response という単語をよく見てみると re + sponse から成り立って居る事に気がきます。

Re が意味するのは「返す」「繰り返す」等ですから、此处では「返す」に当たるでしょう。

では sponse は何を表しているのかと言えば、皆さんお馴染みの言葉 sponsor (スポンサー) から推測して「提供する」「出資する」「後ろ盾になる」等の邦訳が思い浮かびます。

となれば「提供者」「出資者」「後ろ盾」即ち是を勘案すれば「依頼者」「質問者」等に対して（素早く）「反応や応答を返す事」が「責任」又は「責任を果たす」事の本義だと言えそうです。

だとすれば「責任」又は「責任を果たす」というのは必ずしも「解を出す」事や「最適解を出す」事ではなく、まずは「依頼や問い掛け」に対して何らかの「反応や応答」を返す事だということになります。

仮に良い解が見つけれない場合、或いは解そのものが見つけれない場合、又は見つけれないのだが見つけるのが遅くなる場合にも

「良い解が見つけれません」「未だ見つけれません」「見つけるのが遅くなります」等を適宜素早くアナウンスすることも最良ではないにしろ「責任を果たすことの一端」にはなるのではないのでしょうか。

特に相手が依頼事の経過を一刻も早くしり、出来なければ出来ない、間に合わないのであれば間に合わないなりに代替策を即断実行しなくてはならないような時には「遅れてきた最良解」よりは遙かに「責任を果たしていること」になり、結果、部分最適解ではない全体最適解として、よりマシな結果を招くような気が致します。

Even if it's a tiny pancake on the wedding table, it is much more well rather than reached wedding cake after wedding party over.

（たとえちっぽけなパンケーキでも、お開きになった後の結婚披露宴に届けられたウェディングケーキよりは遙かにまし）

要するに「責任を果たす」には「タイミングがとても重要な key factor となる」ということでもあるのかもしれないね。

2021/12/21-2

(オマケの英語教室)

natural gift



shutterstock.com · 1909799176

Bonus (ボーナス) Venus (ビーナス=美の女神) Genius (天才)

我々が欲しがるもの三つ。

最後に皆 us が着いているのを見ても「天から(我々に)授けてほしいもの」ということからそれ(us=アス=我々に)が付いている様な気がしないでもありません。

These 3 items are what we want to be given from Heaven.

とか。

しかし是は自分の完全な作り話で、実際にはギリシャだとかローマ時代に於いて何か「高貴なもの」を表す接尾辞として us (ウス) が付けられたのではないかと推測しております。

(いつもながら調べる気は全然御座いません)

ところで上述の三つの us の中で、最後に出てくる genius (天才) 達も二番目の Venus には、ホトホト手を焼いていた様です。

ギリシャ時代の哲学者ソクラテスの妻が恐妻。我が国では大文豪の夏目漱石の妻が悪妻、との風聞が伝わっております。

(無論風聞なので真偽の程は確かではありませんが)

で、原因は何かと申せば一番目に出てくる Bonus の多寡だったのかもかもしれません。

「有名、有名って、お前さん、実入りが全然伴ってないじゃないのよお、えっ、アンタ、聞こえないふりして、聞いていんの? あんっ?」

と言った具合だったのででしょうか。或いは現代の我が国のように「だんまり、むっつり」の無言責めによる神経戦だったとか。

是では胃潰瘍にもなるのも分かります。

此処で再び「ところで」ですが、この日本語で言うところの「天才」には英語で大まかに言って二通りの言い方があります。

一つは既にご紹介いたしました Genius。これは誰もが認める、換言すれば世間に通用すると言う意味での「天才」

で、今ひとつあるのが Natural gift という言い方です。

少し意識的に邦訳すれば「天が遍く各個人に与えたもった、その人固有の才」

それが Natural gift (自然な贈り物=天与の贈り物=天賦の才)

要するに何を申し上げたいのかと申せば、

前者が備わっていないと嘆くより、世間からは余りちやほやされたり、もて囃されたりする事はないかもしれませんが、遍く各個人に与えられた自分固有の才を活かし「自分なりの興味を追い掛けて楽しめるような暮らしを送ればいい」のではなかろうか？と言う事で御座います。

追記)

最近「説教がましい」という声を屢々耳に致しますが自分は自称「箴言作家」なので「説教がましい」のは当たり前なので御座います。

それこそ上述既述の意味で自分に付与されたそれなりの「天賦の才」なので御座います。

そしてそれを楽しんでいるだけなので、色々言われても全然とは申しませんが、思った程気にはならないので御座います。

悪しからず。

余談)

因みにこの様な態度を日本語で「開き直り」と申します。

自分流の英語ではゴルフ用語をもじって「too much wide and over open-stance mode. Hey!! Anything, come on, from anywhere attack me, please!! mode (surely less contents and backbone.)」と言い習わしております。

(ワイドでオーバーすぎるオープンスタンスモード。へい、何でも来やがれ。どこからでも掛かってきやがれ、モード(勿論中身、根拠無しで)

毎度ながら、お粗末。

2022/1/14

(オマケの英語教室)

port 再び



以前¥にも記事で port について書いた記憶がありますが、

Port は日本語で「港」

Airport は「空港」

Passport は「通行証」

みんな port (港) がついています。

英語ができた時代には当然船しかありませんから、Airport は飛行機が世界をいきかう直前に「空の港」という事で船関係の単語即ち「港 (port)」から派生して作った英単語でしょう。

Passport は読んで字のごとく港を pass (通行、通過する) 手形、即ち「通行証」となります。

他にはホテルなんかで荷物を部屋まで運んでくれる人への心づけとして porter chip(=chip for porter)というのがあります。

この荷物を運んでくれる人、わが国では、自分が子供の頃に、駅で重たい手荷物を列車まで運んでくれていた「赤帽さん」なんかも含まれが、総じてみな porter と呼びます。

要するに重たい荷物を運んでくれる人の事です。

是にも port がついているのは、おそらく昔、港湾で船積みの仕事をしていた人を指していたからでしょう。ですので、そこからの派生か転用だと思われま

(今コロナ禍ではこの porter という語の元となった港の港湾労働者が集まらず船への荷積み、船からの荷下ろしが進まないことで物流網停滞が起き、物価上昇が発生する主要因の一つにもなっているようです)

と、ここまでは名詞形ですんなりとわかり易いのですが、形容詞形で意外なものがありました。

それは portable

で、和訳は「携行用の」です。

ポータブルテレビとかポータブル電源とかありましたよね。

もし「携行用の」が分かりにくければ「持ち運び可能な」がわかり易いかもしれません。

で、ここで今一度英単語の portable を見てみると

Port + able で構成された形容詞だという事がわかります。

Able は「できる」「可能な」という意味を表します。Be able to ~で「~ができる」と教わっていると思います。その able です。

では port は何かといえば言わずと知れた「港」です。

「港が出来る?」「港をできる?」「港でできる?」なんのこっちゃ?

と思われるかもしれませんが、こう訳すとわかり易いかもしれません。

「港から港へ手軽に運べる」

これまで記した内容から容易に想像がつかれるかと思うのですが

「昔、重たい荷物の外国への運搬は全て船」でした。つまりすべて港経由だったわけです。

ですので「港から港へ容易に持ち運べる」ものへの形容(詞)として portable とあらわすようになったのではなかろうかと思っております。

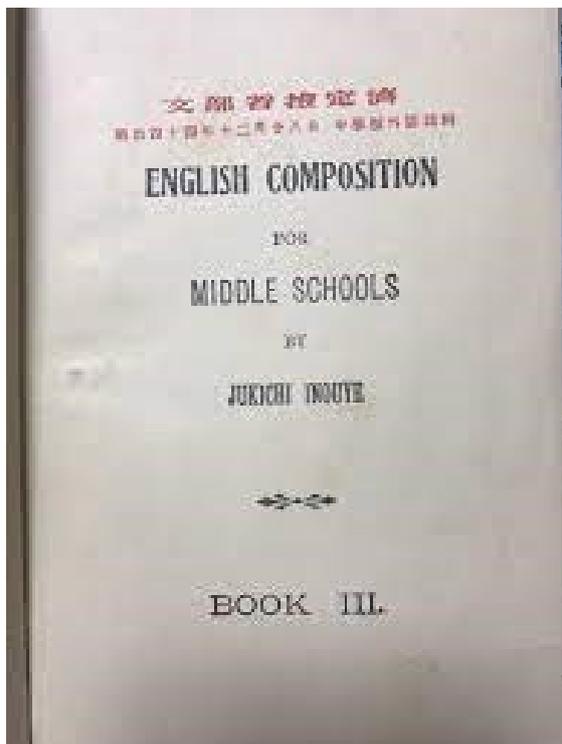
このように、語感に焦点を当てることで幾つかの単語を纏めて体系的に(歴史的背景を持ったストーリーにして)覚える事も可能になるかと思えます。

よかったらお試しく下さいませ。

2022/1/15

(オマケの英語教室)

上げ膳据え膳、逆効果？



今から10年程前インターネットのある書込みで以下の様な投稿を見て驚きと感銘を受けました。

その記事は別に英語について書いてあった訳ではないのですが、それを英語教育に置き換えて記してみます。

「英語を教えるのに大学教授レベルになる迄やっではいけないというなら飛んでもない時間がかかるし、又教授する側の人口も非常に限られたものになる。しかしもし今の自分が英語に関して知っているレベルが他の何人かの人に対して少しでも多ければ、その差分だけは知らない人に教える事ができるし、教えたっていいのではなかろうか。何も10年先を待つ必要はない。今からだっていいし、完成を待たずに途中から始めたっていい。歩きながら作り上げていけばいいだけだ。なので、自分はまずは今から何かを始める事にしております。そうすれば教授する側の人口が爆発的に増える事になり、正誤の戻り差分を除いても、全体としては底上げという意味で案外いい結果が出る様な気がする」と。

それもあって今から 5 年程前にネパールカーリー屋「ナマステエブリバディ」を始めたと同時に辞書を置かない考える英語教室「すすき野留学」を開校しました。

そうして仕事をする中でアジア系の外国人と接してみると

「英語を母国語としない外国人が英語を学ぶ方法としては、むしろ上述のケースの方が遥かに多い様だ」

と思うようになりました。

例えば親は子よりも英語に接した機会が多いので親が子にその差分だけ教える。

近所のおじさんはお父さんお母さんよりまた少しだけ英語に接する機会が多いのでその差分をお父さんお母さんに教え、その新たな差分を再びお父さんお母さんが子に教えたり、そのおじさんがダイレクトにその子に教えたりして子供たちは学んでいく。

といったようなケースです。

それというのも貧しい国々では我が国の様に教育制度や教育を受けられる家庭環境がそれほど整っていないからです。

それでも多言語国家等で共通言語としての英語を生活必須アイテムとして取得しようと思ったら「教育制度の拡充と家庭環境の改善」等あてにもできないし待ってもいられないからです。

そういう意味では逆に我が国では教育制度が「余りに早期に整いすぎていた」が為に、そうした貪欲さが生まれてこなかったのかもしれない。

わかり易く言うと

「ちゃんとした英語は親や近所のあてにならないおじさんなんか教えるものではないからきちんとした学校で「のみ」教わってきなさい。そして又そうあって然るべきだから」という訳です。

なので、我が国では教える側の人口と場所が限られ、且つ又そういった場所で教わる正しい英語以外は絶対にしゃべっちゃダメといったような風潮が出来、ある意味隔離された純粹培養状態が生まれ、生活の中で実験しながら身に着けるといった習慣が育たなかったのではないかなと独り、推測しております。

2022/1/22

(オマケの英語教室)

pro



「ボギー、ボギー。あんたの時代はよかった」という沢田研二の歌詞を突然思い出し、そのボギーである渋い男の代名詞みたいなハンフリー・ボガードの映画「カサブランカ」の連想から、サハラ砂漠の「外人部隊」を思い出しました。

外人部隊というのは要するに「傭兵集団」で、わかり易く言えば「雇われ兵の集まり」です。国を問わずお金で動く「戦闘のプロ」

この傭兵を英語に直訳すれば

hired soldier

taxi (タクシー) や hire (ハイヤー) でお馴染みの hire の受身形が hired で、それに兵士である soldier をくっつけて hired soldier という訳です。

(蛇足ですが同じ「雇う」でも恒常的に雇うのが employ であるのに対して hire は一時的に、の感が強い様です。わが国では前者を「雇用」といい後者を「求人」というのが常です) 一方この傭兵に対して「職業軍人(professional soldier)」というのがあります。兵役制度で徴兵された軍人に対して軍人である事を恒久的な職業(それで飯を食っている)としている人の事です。

要するに軍人をする事でお金を得ている人達。

では、同じお金の為に働く傭兵と職業軍人とでは何が違うのかと言えば「自国の為」が職業軍人で「国を問わずに」が傭兵という事になります。

別の言い方をすれば忠誠心(mind of royalty)の差ともいえそうです。

ところでここに出てきた profession 又はその形容詞形である professional という言葉。

前者は

What`s your profession?

たとえば「あなたのご職業は？」

になりますし、

後者はわが国ではよく

「プロ中のプロ」とか

「アルバイトと謂えどもお金を戴いている以上はプロ意識を持って」

とかいう使われ方がされます。

職業倫理に関する所謂「プロ意識 (professional mind)」の話。

もっと身近な例では「プロ野球」とか「プロレス」があります。

前者は昔社会人野球との区別の為に「職業野球」等という言われ方もしておりました。

又プロレスは professional wrestling の略で自分の子供の頃は力道山とか嚙みつきブラッシー何かが有名でした。

因みに相撲の力士は sumo wrestler です。

話を元に戻しましょう。

ここから出てきた

Profession

という言葉の分解してみると

Pro + fes (sion) となります。

Pro は pre と同じで「前で、前もって」の意味を表します。

では fes とは何か？

これ又毎度ながら辞書を引かずに二つの可能性を想像してみました。

Fes は festival (お祭り) ではないか？

今一つは fess up (自白する) では？と。

前者であればリオのカーニバルからの連想で「お祭りを目一杯楽しむ為に前もって稼ぐ」のが「職業」 pro(pre)+fes.

後者であれば「報酬を戴く前に自分の力量を自白 (= 自己申告) する」のが「職業 (意識)」

pro(pre)+fess up

余談)

冒頭のカサブランカでの一シーン

女が

「昨日はどうしていたの？ what were you doing, yesterday?」

ボギーが

「そんな昔の事は覚えちゃいない don`t know so far past」

「明日はどうしているの？ what will you be doing, tomorrow?」

「そんな先の事は分からない don`t know so far future」

シビれました（全て自己流英訳）

「いつか大人になったら女の前でこのセリフを使ってやる」

そう思いました。

英語学習のきっかけなんてそんなもんです。要するにスケベ心からでした。

2022/1/22-2

(オマケの家語教室)

pro 再び



傭兵の話から始まって最後はボギーの決め台詞で終わった前回のお話

「一体何が言いたいのだ」

と思われた方も多いかと思います。

なので、再び傭兵の話に。

わが国では歴史上、傭兵というのは余りなかった様に思われます。

お殿様が自領の農民を足軽に仕立てた事はありませんが、それとて遠征も含めてすら「自領の為」の話ですし黒澤監督の村の用心棒で「七人の侍」というのもありますがあれは架空のお話。

要するに「戦闘スキル」を「切り売りする」という発想がなかったのだと思います。

ところが海外ではこの発想が大いに盛んであった様です。

例えば経営スタイル。

もっと言えば雇用関係のスタイル。

それを目の当たりにし自らも経験したのは2000年頃でした。20世紀最後の年から。

まず、劇的に変わったのは社内の雰囲気。

よく言えば引き締まった、ですが悪く言えばギスギスしました。

原因を今の自分目線で言えば「人柄重視」から「スキル重視」

性格が多少悪くても腕を優先する。

次に「長期的見方」から「短期的見方」換言すれば「兎に角まず当期の成績」に。

「これで2,3期はいったん凹んでもその後盛り返せばいいんでないの?」という見方から兎に角「每期右肩上がり」が求められその成績が悪いと直に飛ばされるので、

「後任の事なんか考えてられるか。自分の任期中だけよければいい」

になってしまったのです。

指示を出す方も「そこ迄あんたがいうなら遣ってみなはれ。気のすむ迄」から「納期金額、いついつ迄に幾ら幾ら、納期、金額厳守、厳守で、必達必達」に代わってしまいました。

マーケティングの方も「お客様」という「全人把握」から属性切り分けでシーン毎の「部分把握」へと。

要するに日本的経営からアメリカ的経営に変わってしまったのです。

「全人格はいらぬ。スキルだけ寄せ。金は払うから」

その裏には

「スキルにだけ金を払う。だが他の部分は自分で何とかしろ」

がありました。

ですが裏の部分を聞かなかった人が多かった様です。

その結果いいとこ取りをして

「スキルには高額を払ってくれ。だけど今迄通り全人部分の面倒も見てくれる筈だよな」

と勝手の思い込んだ末に最後になって

「会社はスキルに金を払っただけだ。なくなれば用はない」

という結末に。

(海外の雇用者はその点、こちらも割り切っていてスキルは売るが、俺の責任は俺が追うから心条には手を出すな、でした)

海外経営の考え方は飽く迄も「傭兵」思考なのです。

職業軍人思考でも「家族的志向」である筈もないのです。

アメリカ流経営者とはいわば「ファンドマネージャー」みたいなもんです。

決算期毎に投資家(株主)に対して要求された最大利益を弾き出す。その為ならどんな非人情、非道もする。

それがプロ(経営者)

それに対して我が国古来のプロとは「玄人」

酸いも甘いも嚙分けた「情け深い親分」を指しているようです。

American style "Pro" is dry and skillful.

Japanese style one was (not "is") neither dry nor wet but deeply heartfelt,

I think.

2022/1/24

(オマケの英語教室)

Okkana bikkuri and hanshin-hangi



これは自分の感覚ですが

「これは上手く書けた。してやったり!!」

という自信满满、自分の中での「鳴り物入り」の方が後で読み返すと陳腐なものが多く。

どちらかというといひょんなことから「ぼろり」と出たものや

「こんなんで大丈夫かいな？」

という半信半疑でおっかなびっくりで書いたようなものの方がそれよりは少しまともに思えたりすることが多いです。

他の物書きの方はどうなのかは知りませんが、何故半信半疑ものの方がまだましなのか理由もわかりません。

高校生時代に耳が不自由になったのに偉大な交響曲を書いたベートーベンの第九の主題「苦悩を通して歓喜に至れ」に痛く感銘し、

「作品というものは悪戦苦闘の末に満を持して出すものだ」

と思ひ込み、大学のロシア文学科に進んでからは大作、力作揃いのドストエフスキーやらトルストイなどを読み漁ったのですが、どうもイマイチ、ピンとこず、結局卒論はロシア本国や我が国の学生さんの間では「思想性に乏しい」だの「主題やメッセージが不明確」だのと散々たたかれましたが、深刻ぶって「悩んでますポーズ」をしていず作品にユーモアが感じられて重たくない短編の名手と言われたチェーホフにしました。

今思うと彼を卒論に選んだ理由はたぶん控えめで「作り物が少なく」「嘘がない」からだったような気がします。

後は

「今の時流には合わないかもしれませんが、自分はこの書き方で書きます。評価は後代にお任せします」

といったような、覚悟を決めた「潔さ」のよおなもの自分には感じられたからかもしれません。あくまで自分の感想ですが。

どうも自分は力作、大作、鳴り物入りが苦手なようで「半信半疑のおっかなびっくり」や「ほんまかいな」の方が性に合っているような気がしております。

処で、上述の「半信半疑」や「おっかなびっく」を英語では何というのか？

是又我流英語訳では

半信半疑が読んで字のごとく

Half believing, half doubting

ならば、おっかなびっくりはというと、その様態（反応の様子）からひっばってきて

In front of unknown world mode

とか

Unknown objects blind touching mode

とか。

それこそ是又

「ほんまかいな？」

そのものですが。

余談)

自分のこの「一般的な英和や和英辞書には載っていない」日本の四文字熟語や成句を使って敢えてそのまま直訳したり、その熟語や成句を絵画的に意識したりした英語をほんの時たまですが、外国人さんの中には

Funny but understandable, can image easily

(おっかしい。でも分かるわ。イメージしやすい)

とってくれたりする人もおります。

日本の四文字熟語や成句というのは、意味を理解すると外国人には非常に面白く興味深い表現 (not funny but interesting expression) に映る場合があるようです。

2022/1/26

(オマケの英語教室)

detective



今を遡ること 60 年前

「ぼ、ぼ、僕らは少年探偵団

勇気凛々瑠璃の色

朝日に燃える呼び声は

朝焼け空にこだまする

ぼ、ぼ、僕らは少年探偵団」

という番組内主題歌があり、江戸川乱歩創作の名探偵「明智小五郎」の子孫である明智少年演じる「少年探偵」というものに物凄く憧れて、友達と少年探偵団を結成し、小学校が終わると帰り道で事件との遭遇を求めて街のあちこちを根掘り葉掘り探偵しまくっておりました。

成果としては友達が住んでいたアパートの庭先の土中から、当時としては大変高額な髭だらけな板垣退助の顔が載った百円札を掘り当てたくらいのもので、怪人二十面相にもただの一回たりとも遭遇しませんでしたし「駄菓子屋の旦那の浮気現場を押さえた」とか「強面のお兄さんが可憐な少女から金を巻き上げる現場を目撃し、交番に通報した」とか言った事も皆無でした。

ですが当時の自分としては、是は「探偵ごっこ」等ではなく、こちらが小学校の勉強を差し置いても果たすべき「本業本職」の感がありました。

しかし、その熱中ぶりが災いしたのか親がブチ切れてしまい、最初は家庭教師を貼り付け、それも効果なしと判断するや否や 5 年生の 3 学期に進学高のある学区域の小学校に越境入学という形で強制転校させられてしまいました。

「こん、うつけもんがあ、勉強ばあせんで、遊んでばかりおろうが。かくなる上は最後の手段じゃ。勉強漬けにしたあけん。よかとじゃ、の」

という顛末。

まあ、余談はさておき

で、冒頭の折、ふと思ったのが

「そういえば私立探偵という言葉は聞いた事があるが公立探偵というのはきいた事ないわなあ。なのに、なんでわざわざ「私立」探偵いうねえやろ？探偵は私立にきまっとうやないの。公立探偵なんぞ、聞いた事あれひいんでえ。せやから、私立なんぞわざわざつけひいんでも探偵だけでええの、ちゃうかあ？」

でした。

それで、ここからが英語のお話です。

私立探偵は英語では private detective

公立探偵は、外国にもあるのかどうかは知りませんが直訳すれば public detective でしょう。

では、public detective とは何なのか？

実は detective には探偵のほかに「刑事」という意味があるのです。

なので、おそらくこの公務を行う探偵 public detective が「刑事」で、その「隠れ public」の対比和訳として私事（民事）を調査する者を頼まれもしないのに、敢えて private をつけて private detective 即ち「私立探偵」と訳したのでは、なかろうかと。

つまり最初に翻訳した訳者は、公務の刑事ではなく私立の探偵であることを物凄く意識し、強調したかったのではなかろうか？

つまり

「お上がやっているんじゃなくて、民間の一匹狼が自前自活でやっているんだぞ」という事を。

まあ、完全な推測で且つ又当たっていたとしてもどうってことない話なのですが、ちょっと気になったものですから、本日は本件を書きしたためてみました。

注)

最近テレビのアニメでやっていたコナンライクな「少年探偵団」は 60 年前の実写版のリメイク作品のようです。

2022/1/26-2

(オマケの英語教室)

before after



「背に腹は代えられぬ」

を英語で何というか？

We never can replace a back to a front.

でもいい様な気がしますが何かイマイチ面白くないので

Never can put “a after” before “a before”

にしてみました。

上の文は文字通りですが下の文は意識です。

つまり後に出てくる結果（背）を前（腹の代わり）にはおけない。という意味で

「背に腹は代えられぬ」

を表している訳です。

或いは少し長くなりますがもうちょっとダイレクトに

Never can wait for a after (=later hopeful result), then anyway will take a before (=earlier direct effect)

（後で出てくる希望的な結果を待てられないのでまずは前の直接的な効果に手を付ける）

覚えるのが大変ですが是でもいいかもしれません。

なので、お勧めは真ん中の文案です。

ところでこの「背に腹は代えられぬ」の採用可否の選択を迫られているのが将に今です。

何を隠そうコロナ禍第 6 波、オミクロン株の爆発的感染拡大とその亜種であり更に感染力の強いオミクロン株 BA2 への変異が確認された事で最早社会機能そのものが維持できそうもなくなり、医療、治安、教育の崩壊の恐れから人々の姿が我が商圈から消えてしまいました。

たまに人出があるとすれば夕刻のスーパーで、見切り売りの discount お弁当に人が群がる時だけ。それも目当ての物を手に入れるとさっといなくなってしまう始末。

企画元のスーパーにしてもお弁当の discount は「ついで買い」を狙った客寄せパンダの筈が是では何の為の discount か分からなくなっている処でしょう。

で、話は翻って当店が何に関して「背に腹は代えられぬ」の採用の可否を悩んでいるのかと申せば、

「前例に倣い当店でも takeout の 550 円を 500 円に discount すればそれなりの需要がとれる事が分かっている。しかしこちらにしてみれば是はあくまで臨時措置で、その後、値を元の 550 円に戻しただけの筈が、そういった理屈は一切受け入れられずお客様にしてみれば 50 円の値上げに映ってしまい、戻した後の需要が激減してしまった」

過去がありました。

何の事はない全体を通してみれば「需要の先食い」でしかなかった訳です。しかも悪い事に「値上げをした」というマイナスイメージだけが残ってしまった。

増税前の駆け込み需要も同じ事です。しかしこの場合は更に悪い事にお客様からみれば、増税前の discount が例えば 20% だったとしたら増税後の戻し値分 20%+増税分 2% で合計 22% アップに見えてしまうのでお店側の影響は更に深刻でしょう。

そうした過去の経験を思い出す時、いっかな「背に腹は代えられぬ」とはいえ、そうそう安易に「背に腹を変えるべきではない」という思いもあるからです。

ましてや、お金を社会に回す為には賃上げが必要であり、その原資を得る為には適正な商品価格転嫁（良いインフレ）が必要だとの立場にもあるのでそう簡単に「背に腹を変えたくない」という思いもあるのです。

テレビ番組の題名ではありませんがそれこそ before after で、値上げ前 (before) はデフレで苦しんだが、値上げ後 (after) は生活が却って楽になったという様な「大幅な改善」を実現したいからです。

2022/1/27

(オマケの英語教室)

dragonfly in the paradise



Dragonfly in the paradise

とは何か？

我流英訳で「極楽とんぼ」の意味です。

では、

Always fine weather in his brain

とは何か？

といえばもちろん「脳天気」の事です。

当店の外国人従業員はみなこの極楽とんぼと脳天気な側面を多々持ち合わせているので、経営者としてはとても助かっております。

多少の事では落ち込まないし凹みもしないので、とても気が楽だからです。

特に今般のコロナ禍のような場合には、この特性は非常に有難いものに感じます。

変に深刻ぶったりされるよりは遥かにましです。

「この緊急事態の状況下、へらへら笑っていると何事だ。緊張感が足りん」

等と言っているようでは、到底この難局は乗り切れないでしょう。何せ既に 6 波にも及ぶ長丁場。更には 7 波 8 波も考えられるわけですから、初めからいきり立っていてもエネルギーの無駄遣いにしかなりません。

(緊張感というものは適宜持つものであって、恒常的に持たせると疲弊と抑うつのもとにしなければならないという事も副次的に得た教訓です)

という教訓を現時点得たものですから、それを商売に応用してみようかという気持ちが生まれました。

つまり、お客様のマインドレベルによって需要を切り開くという手法です。

何の事かと申せば、日本のお客様はアジア系在日就労外国人よりはるかに money stock があるはずなのに mind down のレベル下方向に著しい。

一方アジア系在日就労外国人さんの大方は「相対的には」という注釈付きで dragonfly in the paradise 又は当店の特筆すべき従業員たちのように always (いつも) まではいきませんが usually fine weather in their brains(大抵は脳天気)な傾向が見て取れますので、むしろ money stock 量基準で見ると mind position level(=money using will or tendency)で見た方が的確に需要を切り開くことができるのではなかろうかという仮説を抱きました。

それで明日から your hometown taste と銘打って日本人好みの味とは全く違った味のカーリーお弁当販売を開始することに致しました。

実際の需要がどれほどあるものなのか?は全くの未知数なのですが、こじつけであれ、何であれ(over-meaningful or something like that one:左文我流英訳) 最早そのくらいしか打つ手がなくなっているのが当店が今置かれている実際の台所事情なので御座います。

是ばかりは天恵ですが、この辺りにはアジア系在日就労外国人さん、就中その中であっても意外と高給取りが多いのでございます。

余談)

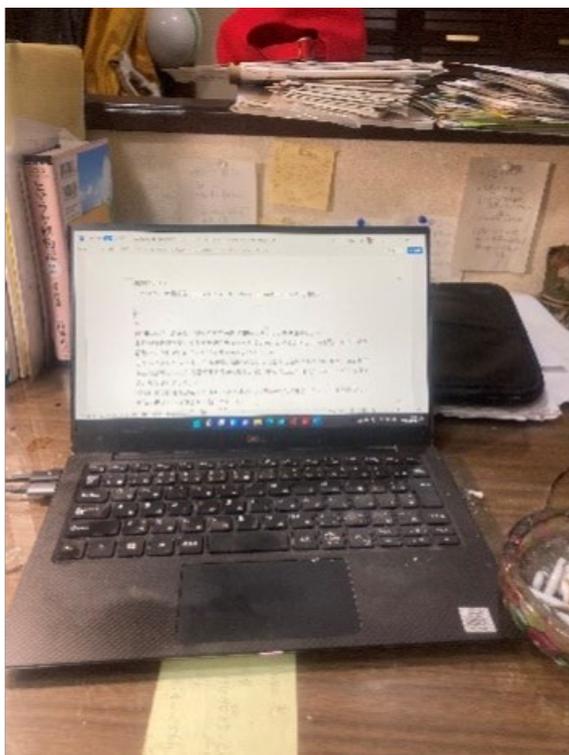
当店のあまり英語が達者でない外国人従業員たちは、自分のこのいい加減極まりない英語を結構面白がっております。

Joke, joke, good, good と。

2022/1/28

(オマケの英語教室)

return to basic functions or fundamentals



白内障の進行が著しく視界クリア度が30%くらいしかありません。

本日最終検査を受けて手術実施が決まったのですが、日にちが何と3か月後の4月半ばと最後半にそれぞれ右目と左目を各一回という事に。

初めのアナウンスでは1月末検査。問題がなければ2月ときいていたのですが、コロナ第6波の影響らしく白内障手術患者が爆増し、結果早くて上述の日取りがやっとだと本日突然、知らされました。

進行抑制点眼薬を調剤してもらったとはいえ、進行が完全に止まったとしても最高で視界30%の世界が今後3か月は続くわけで。

そのアナウンスが今朝10時の診察。

ショックで寝込んでしまい、PCの画面に向かう気になったのが只今の夕方5時。

とまあ、ずらずらと私事ばかりを書いたわけですが、ここからが本日のお題です。

自分は売上の整理や販促物の作成、SNSでの記事の執筆などで長い時で一日10時間程もPCの画面とにらめっこをしています。

その10時間が視界30%の状態だと大変な苦痛を強いられることになります。

そこで思ったのが、PCはとどのつまりは付加機能数ではなく、いかに基本機能がまじめに作ってあるかだなあという事でした。

Whisy, whig(what you see, what you get)

見た通りが手に入る。例えば画面上のものが、見たままちゃんとプリントアウトされるとか、

No time lag (=time lag less)

キーボードやタッチパッドを叩いたりなぞったりすると同時にその内容が時間差なく画面に反映されるとか、

”Too much kind “ is , vasa versa, too much disturbing. Then too much add-on functions are getting(or have been) saved.

小さな親切大きなお世話。オートコンプリートが効きすぎて意図しない動作が頻繁に起こり、却って作業の邪魔になるので、あまり過度な自動機能を盛り込まないように敢えてマニュアルモード優先に作ってあるとか。

PCはそのいい例ですが、今の文明は快適さ、面白さ、話題性を求めすぎるあまり、

「で、そもそもは何をしようとしていたんだっけ？」

という基本の部分がないがしろにされているような気がしました。

(便利は便利なのですが、必要以上に便利すぎて「一体全体誰が主なんだっけ？(この便利さは誰の為なの？私の為？それとも「私の為」にかこつけて自らが差別化高度化といたいのがための売り文句訴求上、必要だからという自己都合の為?)」と聞きたくなるほどどうとうしく感じることもさえあります)

それを地球資源という観点からみると、この「過度の快適さ、面白さ、話題性の追求」の部分こそが「過剰、余剰生産分(=資源、労力、時間の無駄遣い。切磋琢磨すべき方向性の誤り)」なのではなかろうかという気がしないでもありません。

そうしてみると今コロナ禍は

「何が必要で、何が冗長なのか？何が過剰で不必要なのか？」

「今行っている努力の方向性は正しいのか否か」

を見分け、新たに問いかけるいいチャンスなのかもしれないなとも思った次第です。

2022/1/29-2

(オマケの英語教室)

amateur 前編



昔、邦題名「ショーほど素敵な商売はない」という映画がありました。

またまた我流英訳をすると「Showbusiness is the best」或いは「It`s the best, showbusiness is」とでも訳しましょうか。

本日はこの題名をちょっと拝借して「Amateur business is the best」或いは「It`s the best, amateur business is」というお話をしたいと思います。

即ち

「素人稼業ほど素敵な（有利な）商売はない」

です。

尚、ここでは素人を日本の方に馴染みやすいように amateur（アマチュア）と英訳しましたが、英語では同じく素人を表す言葉に layman という言葉があります。

直訳すると laying（横になっている）man（人=なお man は古代ケルト語では男ではなく人全般を表していたそうです）

Laying が何故素人を表しているかと申せば、自分の想像では、プロは忙しく立ち働いているのに対して、素人は「寝そべて鼻くそほじりながら適当にやっている」というイメージというか、その人への揶揄を元にしてできたのではなかろうかと推察しております。

それはさておき、上述の

「素人稼業ほど素敵な（有利な）商売はない」

の件ですが、

実はこれ、現在の自分の偽らざる実感なのです。

普通世間様ではプロが上で素人が下だというのが常識です。

例えば「下手に素人が手を出すな。プロに任せた方がいい」

というような言い方からもわかります。

しかし敢えて素人でいた方が断然有利な場合もあるのです。

If you stay a amateur position intentionally, sometimes you can get a possibility of holding much more cards.

次の記事では自らの経験をもとに三つの例を挙げてみたいと思います。

(続く)

2022/1/29-3

(オマケの英語教室)

amateur 後編



まず株や金融商品の運用。

「投信ファンドでプロに運用をお任せ。貴方は寝て待つだけ」

という謳い文句。

一見、実しやかですが株や金融商品売買のプロ、例えばファンドマネージャーには逆に「四半期毎の決算」という絶対的納期期限の縛りがあります。

そこまでに何が何でも顧客から依頼された必達の数字を上げなくてはなりません。その為長期的に見れば持っていた方がいいアイテムをやむなく売り払ったり、同じく長期的に見れば最後はゴミ屑だと分かっている様なものを抱えていたりしなくてはならない場合が出てきます。

昨今の不確実性の時代を見れば現物資産であり無国籍通貨である「金 (gold)」を持っていた方が安全なのだが、金利引き上げとなれば金利を生まない金よりは現時点金 (money) が稼げる米国債にシフトした方がいいといった様な例です。

無形資産であるアバターやアイコン等現時点では持て囃されてはいるが明らかにバブルでしかないと思う物を買って漁ったりしなくてはならない場合もあります。

或いは非常にシンプルに株の利益確定売りで、いったん手放したりします。

しかし、素人にはプロにとっての絶対命題である「決算期限」がありませんから、ドルコスト平均法に従って毎月一定額の株を買い続け、それを売らずに長期保有していれば十中八九 15%位の利益は得られるのです。

簡単に言うと証券会社を通さずに、つまり余計な売買手数料をかけずに証券会社のセリフそのままに「寝て待っていればよろしい」訳です。

次に経営の素人のお話。

よく経済新聞などで「経営のプロの目」などという記事が載っていたりします。

しかし「プロ」という名がつくと、おいそれと下手な事は言えなくなりますし、下手な事もできなくなります。注目度や影響度が格段に上がってしまうからです。

結果、がんじがらめになって「ありきたりの事しか言えなくなる」場合が多々ありそうでした。

その点、自分の様な素人経営者は誰からも注目されておられませんし、思い切った事をやっても「めくら、蛇におじず」か、失敗しても「バッカだねえ。あれほど言ったのに」位で済んでしまうので少なくともかなり気が楽です。

そして最後の例

素人の物書きです。

友達にプロの物書きの方がおりますが想像するだけでも大変だと思います。

ファンマネと同じく納期期限の制約。

編集者への配慮。

そして読者満足の重圧。

ところが素人物書きである自分は、書きたい時に書いて誰からの支持をそれ程気にする事なく書きたい事が書ける。

で、間違っていたら書き直してアップロードし直すか「ごめんちゃい」で済んでしまう。

その代わり無収入ではありますが注目されない分、逆に無加圧なので持ち駒が増えますし。

If you want to enjoy what you want to do, it might be better to take it as a amateur rather than as a professional consciously, even if you can't get enough money.

(したいことをしたければ、例え多少貧乏しても敢えてプロにはならない方がいいかもしれない)

是が今の自分の偽らざる感想です。

2022/1/30

(オマケの英語教室)

in spite of spy



「in spite of spy」

(スパイにもかかわらず)

「なんのこっちゃ？あん？」

とお思いの方も多いかと存じます。

後ほどご説明申し上げますが、その前にまず spy という単語の使い方を少々。

意外かもしれませんが spy というのは英会話の中では非常に身近な単語です。

何も 007 が活躍する世界に生きていなくても、いとも簡単に日常的に遭遇する単語なのです。

例えば日本語で言う「見て見ぬふり」「チラ見」「盗み見」「気づいているのに気づかぬふり」をしているが、実のところは全身目と化し耳となっている状態「偵察する」「隠密行動」「様子見」「様子伺い」「抜き足差し足忍び足モード」「隣は何をする人ぞモード」等等。これらの行為は英会話の中では全てこの spy の一語で表せます。

See, look at, watch など表の世界での「見る」に対して裏で秘密裏にする行為の「見る」は殆どがこの spy で表すことができるのです。

で、ここからが表題 in spite of spy の前半部分の in spite of のお話です。

「in spite of」はわが国の教科書では「にもかかわらず」と出ております。

他には despite of というのも同じ「にもかかわらず」とも出ております。

この二つの場合は of の後ろに名詞が来ますが、同じ「にもかかわらず」と訳される nevertheless の場合には大抵後ろに文章が来ることが多いです。

そこでまず in spite of や despite of に共通して出てくる spite とはどういう意味なのかですが、これは

「悪意」とか「(悪意が導き出す)極めて困難な状況」を表しております。

Spite=悪意。Spy=スパイ、諜報員、密偵。

何か似ていませんか？共通する「sp.」があらわす何かが。

で、更に in spite of の in を increasing(増加)と仮定すると in spite of は「悪意(悪条件)が増えているにもかかわらず」と取れますし、despite of の de が decreasing(減少)を表していると仮定すると「悪意(悪条件)が減少し、好条件がそろい始めているにも関わらず」と逆の設定での「にもかかわらず」を表していそうな気がしてきます。

この伝で行くと冒頭の in spite of spy の訳は

「スパイにもかかわらず」

は

「スパイ行為に晒されている(不利な立場)にもかかわらず」

の方が妥当の様な気がしますし

仮に despite of spy

なら

「スパイ(という有利な立場)のくせに」「スパイなのに」

とも言えそうです。

では、後に文章が来る場合が多いと述べた nevertheless を使った「にもかかわらず」の場合はどうでしょう？

この場合 nevertheless を never + the less と分解してみると「無いことは決してない」と訳せ、言い換えればその逆で「あって当然にもかかわらず」と解せそうです。

しかし、実際の処この推論があっているかどうかは分かりません。

分かりませんが、まずは何も見ずに(調べずに)独力で自分なりにこういった推論を立てて英語を見てみると結構面白い仮説が出来たり新しい発見があったりしましたので「そうした学びの楽しみ方もあるみたいですよ」という事を申し上げたかったので、今回はいたづらがてらに書いてみました。

正解は皆様方で調べてみるのも一興かと存じます。

2022/1/30-2

(オマケの英語教室)

never say joke



Never say joke

(冗談言うな)

わが国でも謂わずと知れた一文です。

では、

「ざけんじゃねえ」

は英語で何というか？

「冗談こいてる場合かよ」

はどうでしょう？

「冗談は顔だけにしろ」

は？

最後に

「バカも休み休み言え」

は何とさえいいいのでしょうか？

日本語では是に類する表現は他にも数多あるのです、実は英語ではこれらが全部

Never say joke

の一言で OK なのです。

例えば最後の文を

Say joke, with rests each time taking (or intervals each time putting)

なんて言っているのを日常英会話で聞いた事がありません。

確かにそんな言い方を聞いた事のない外国人には、それはそれで一興としては面白いかもしれませんが逆に同じ言葉で済んでしまう situation で、こうまで別々の言い方をされると却って戸惑いを覚え、悪くすると気味悪がられる可能性すらあります。

処が我が国の英語教育下では上記の和文の数だけ英訳を施す事を求められます。

それができないとボキャブラリーが乏しいといわれ、場合によっては星の教程のペケを食らい、テストで落第点を貰ったりする事にもなりかねません。

なので、我が国の学生さんは英文和訳問題ならまだしも、和文英訳となると途端に恐怖のどん底に陥って頭の中が真っ白になってしまうケースが多い様です。

(Suddenly Inside their brains are falling into whiteout mode(=panic mode)

是こそが我が国英語教育の「出発時点における最大の違い」だと思ふのです。

英語の単語の学習で大切なのは、実は意味の理解やそれが示すところの日本語に訳した時の意味数の多さ(記憶量)でもなく、逆に英語に訳す時の的確さ(ピンポイント精度)でもないのです。

英語教育の取りかかりで大切なのは、

英語の単語は

「単にその基本的な中核イメージ(but it, for Japanese people, little bit looks like not core but fog or air)を示しているだけで、あとは機会に応じてその場の状況で読替えたり組立てたりするものだ」

という認識への転換です。

何故なら日本語の単語の核というのは「単なる中核的なイメージ」等といった曖昧模糊としたものではなく「逐一絞り込まれ限定された固定実在」みたいなものとして捉えられているので、そういった曖昧模糊さ、不確かさがなかなか理解されないのかもしれない。

多分日本の英語学習者はありません「日本語に逐一对応した対訳英語」の亡霊を追いかけただけなのかもしれません。

なので、その愚を繰り返さぬ様、今一度申し上げますと

英語教育の肝は

「単語の中核的イメージの把握とその臨機応変な応用」で、その前提として逆に「日本語とは如何なる言語なのか？」という特性をまず学ぶ事です。

これが所謂「英語脳」の作り方でしょう。

いやいや、事は簡単なのです。

例えば

Have の中核イメージは「持つ」take は「取る」get は「得る」be は「在る」で do は「する」go は「行く」で come は「来る」

それ位掴んでいけば十分なのです。あとの天文学的な数の邦語からの英訳記憶作業は全く余計なのです。

何の事はない、後は中核イメージを臨機応変に読み替えて応用すればいいだけなのですから。

2022/1/31

(オマケの英語教室)

Just has come, the asking



「中核イメージを掴むって言って、haveが「持つ」でtakeが「取る」getが「得る」なんて誰でも知っています。そんなものを並べても意味がないと思います。むしろそういった横展開ではなく、それぞれの語が中核イメージを元にどのように縦展開したり派生したりするか、具体例を示してほしいです」

という誠にスルドイご指摘が学生さんからございました。

実にうれしい限りです。書けど暮らせど無反応、が今まで殆どでしたから。このコーナー。では早速展開してみましょう。

例えば前記事の最後に出てきた come「来る」

この中核イメージは「(期待しているものが) 近づいてくる」イメージです。

実際に come closerで「近づく(近寄ってくる)」となります。

そのイメージを保持したまま out、即ち「外に出る」イメージを組み合わせると

Come outで

Sprout comes out なら「発芽する」

Flower comes out なら「開花する」

で

Result comes out なら「結論が出る」

ですし

最近有名になった語で

The Secret comes out で「例の秘密が公表される」

となります。（話題になった語は coming out ですが）

上から「目が地面から出てくるイメージ」「花がつぼみから外に押し開いて出るイメージ」「結論が数多の議論を経て出てくるイメージ」「隠れていた秘密が闇の中から出てくるイメージ」

となります。

ここで気づかされるのは日本語ではそれぞれに「発芽」「開花」「結論付」「公表」という全く別の訳語が存在するのに英語では come out しか出てこないことです。それですべてをまかなっている。

処が我が国の教育ではそれぞれにきわめて特殊な訳語を無理やりあてたり、come out の意味をずらずらと 10 も 20 も辞書に並べて書いたりするわけです。

「それを覚えろ!!」と言う方が無理というものです。

賢明な読者の方はもうお分かりだと思いますが、この件に関して覚えればいいのは Come の近づいてくるイメージ。Out の外に出るイメージだけです。後は TPO に応じた派生展開をすればいいだけなのです。邦語訳するときに振り分けて訳せばいいだけで、英訳の時には come out だけで大抵まかなえてしまうのです。

余談)

因みに where did you come from? は「前泊地は何処？」で where are you from? は「ご出身はどちら？」となります。

後の文章の from のイメージは「原因」とか「出自」「大元」を表しています。なので「お生まれはどちら？」という意味になるのです。

又、「3時に行くわ」

という時に、時折

I'll go there at 3 pm

ではなくて

I'll come at 3 pm

という場合がありますが、これは行く先が「慣れ親しんだ場所」に「行く」様な場合に使われます。イメージとしては「心理的に親しく感じられる場所に近づく」場合でしょうか。

この場合いつもの処で落ち合うのに、相手が go を使うか come を使うかで、相手にとっての質問者の重要度合いがわかる場合もあります。Go だとやや疎遠、come だとやや親密、といった処でしょうか。

なので、相手に無意識に go を使われる様になったら気持ちが乗らなくなってきたサインなのかもしれません。

ネパールカレー屋「ナマステ」別館堂

& 英語教室「すすき野留学」主人

辞書を置かない

考える英語教室

「前座の英語」第八集

Pre & prep. English 8

(本編)

2022/2/9-2

(オマケの「英語教室」)

alive English dictionary in a town street



預金は deposit

振込 (又は送金) は remittance

引出は withdrawal

通帳記入は passbook update

残高照会は balance inquiry

これらの単語は ATM のパネルに書かれていたのでそれを覚えました。

因みに外国人は、振込は remittance を使わずに transfer をよく使っております。

聞いていると remittance はどちらかという振込より「送金」に近いようです。たぶん故国の家族に送金する機会が多いことを見越して邦銀側がこの訳語を当てているような気がします。

又、ある日駅で乗り越し精算をするために精算機の前に行くと料金精算を英語では Fare adjustment と記してありました。

「へえ、精算というのは adjustment を使うのか!!」とちょっと驚きました。

想像もしてない意外な単語で、しかも知っている単語でもあったので

「こんな風にも使えるんだあ」

と驚いたのです。

ところで話は変わりますが昨日当店の外国人従業員に対して年末「調整」後に源泉徴収所得税会社側、徴収過多の分を 1 月の給与で返金したのですが、その後の計算で実は徴収不足が分かった為に新たに追加徴収をする事になりました。

しかしある事情からその額が一度に引き去るには結構な金額になるので、会社側からすれば財政逼迫の折、一刻も早く返金して欲しいのは山々なのですが、本人の当月負担額及び本人とその家族の心理的負担を考えるとそうはできず結局はそれを12か月均等割りに「調整」して引き去ることにし、今回2月の給与はその第一回目である事を外国人従業員に説明致しました。

その時思ったのですが、

「年末「調整」の場合は同じ調整でも「ぴったりあわせる(hard landing)、整合を取る」という意味合いが強いのでたぶん前出の adjustment 即ち「精算」を使うのだろうか。

(何故なら adjustment の中には just (丁度) の文字が含まれているから)

しかし引去額が大きくて社員負担が多い場合の12か月均等割は同じく邦語訳では「調整」でも「ゆるやかに合わせる(soft landing)、ちょっといじる、計らいをする、勘案する、微調整のレベルで匙加減をする」という意味合いが強いので adjustment ではなく、むしろ arrangement を使った方がよさそうだ

(何故なら arrangement の中には幅を持たせる意味の range(音響等で使う dynamic range や山脈を表す mountain rang があります)が含まれているから)

という事でした。

それでその外国人従業員には

We have done a arrangement for you, don't worry, not once payment, changed to every month payment style, withdrawal per month is not so much.

(調整しておいた。心配するな。一度の支払いではなく毎月返済型に変えておいた。毎月の支払いはそんなに多額にはならないからな)

と伝えておきました。

「街中英語」って結構役に立ちますし、使えますね。

わざわざ何回も事ある毎に辞書は引かなくてもいいかもしれません。

せいぜい確認の為かダメ押しの為位の頻度で。

だって「生きた辞書」が目の前に実使用例実写動画添付の超高級仕様タイプとしてそこいら中により取り見取り状態で、しかも只で転がっている訳ですからね。

使わない方が「据え膳食わぬは男の恥」であるにも比して

「勿体ないもいいところ」というものでしょう。

2022/2/10

(オマケの「英語教室」)

poor



Poor

と聞けば殆どの方は

「貧乏 (な)」

と訳すでしょうし又そう習ったと思います。

Rich(man)が「お金持ち」で poor(man)が「貧乏人」

しかし自分はこの poor という英単語に「貧乏 (な)」という訳を当てるのに昔から少し違和感を覚えておりました。

というのも

「何や是。Poor な idea やなあ、お前の」

等と商品企画部時代から散々コケにされてきたからです。

この場合の poor は「陳腐な」とか「チンケな」と言う意味合でした。

要するに「新味に乏しい」か「安っぽい」のだと。

特に後者の場合には poor より cheap (チープな) の方に近いと言えそうです。

(因みに安っぽいは正確には cheapish、cheap に「~っぽい」を表す ish をつけて cheapish です)

となると rich の対語として poor の代わりに上記の先輩が言いたかった真意としての cheap (cheapish)を持ってくるのは何か妙な気がしたのです。

Rich 対 poor

なら分る。だが

Rich 対 cheap

は対称関係になっておらず何か変だと。

何故なら我々が習った範囲では cheap (安い) に対する対語は expensive (高い) だからで

す。

ではこの二つを包含して括れる poor の概念は何か？

金銭と力量の貧困を包含する image とは？

此処で話は思い切り飛びます。

実は一方で我が国固有の概念である「勿体ない」を外国語には訳せないなので仕方なく多くの国で mottainai をその儘訳語に充てているそれを、他の日本語で表すとどういえばいいのかを結構長い間考えておりました。

それができないと mottainai に代わる英訳ができないからでした。

Mottainai という言い方は日本文化に造詣の深いインテリ外国人には通じてても一般ピープルの外国人には「何のこっちゃ、ようわからひん」からです。

でもこの日本固有の概念である「勿体ない」は限りある地球資源を守る意味では何とか世界に伝えたい、そんな大それた想いもありました。

そこで誠に変な方法ではありましたがまずは勿体ないと言われた側の「物の気持ち」になってみました。

「まだまだ他にもお役に立てます。そう簡単に捨てないで。役立つなら今少し他で使ってください、私を」

「そうか、まだ働けるうんか。その能力が使われぬ儘捨てられたんじゃ、そりゃあ「残念だろうし可哀想だ」

「勿体ない」 = 「(物にとって) 残念で可哀想」

ではこの「残念で可哀想」に当たる英単語は何か？

そういえばこんな会話を耳にした事がありました。

I feel you are poor.

(さぞ残念な思いをしたでしょう。そんな) あなたが可哀想

Poor の image が三連立方程式になりました。

「貧乏」「チンケな」「残念で可哀想」

お金が足りない。中身が薄い。十分生かされぬ儘、残念無念。

で、ふとこんな英単語が浮かびました。

Not full, not enough

(full ではない。十分でない image)

I feel things are poor,

because scrapped nevertheless still not enough working up yet.

(十分働き切っていないのに捨てられるのは「物達が可哀想だ(物達もさぞや残念な事だろう)」

となると日本語で言う処の「貧乏」に poor を当てるのは何か的外れな気がしましたので

「貧乏でんね」という時には「不十分で残念」との混同回避の為

I'm poor

を使わず

I`m under poverty

を使っております。

自分なりの拘りで。

2022/2/11

(オマケの「英語教室」)

nuance



「行間にあるものを読み」

「周りの空気を読み」

「微妙なニュアンスが分からないと一人前とは謂えん」

会社員時代、散々言われた言葉です。

「行間」「空気」「微妙なニュアンス」

しかし是ばかりを気にしてその発見や差異の読み取り精度を上げる事にばかり専念していると、元々の行に何が書いてあったのか、ニュアンスを醸し出している本体が何だったのかがだんだん分からなくなってきました。

以前にも書きましたが

「基ッ、そもそも我々は何をしようとしてたんだっけ？」

と聞き返したくなる様な状態になってしまいます。

「ニュアンス」「行間」「空気」「微妙な差異」は英語で nuance

(どうも我が国では「行間読み」と「ニュアンス」に度を越して時間を割きすぎている感があります)

次いでですから

他に nu がつく英単語を探してみました。

N(e)utral 「中性の、どちらにも偏らない」

Nuclear 「核の」(核兵器が nuclear weapon)

Numeral 「数字、数詞」

Number 「数、番号」

なんかを思いつきました。

自分の感覚によれば是等に共通しているのは

一つには何となく「●●の間、中間」という感じがしたのと

今一つは「理数系や科学系っぽいな」という事でした

「でも、nuance は行「間」 n(e)utral は「中」性 nuclear は原子の「中」の核で「間や中」なのは分かるけど、後の二つ numeral(s)と number(s)がどうして「間や中」に当たるの？」という疑問を抱かれた方もおられるのではないのでしょうか。

本件、是又自分の感覚で申し訳ないのですが「数」や「数字」は物事に対して「中」立であるからなのだと。即ち「科学そのもの」

ところが此処で一つ解釈するのに厄介な nu を含む言葉が出てきました。

それは

Nurse 「ナース」

「余り理数系、科学系っぽくないな」という意味ではグルーピングとして nuance に近いのですがそれにしても何で又 nurse が「中」「間」なのか？

是には相当悩まされました。殆ど「こじつけの世界」を彷徨歩く羽目に迄なりそうになりました（自分には元々その傾向がある事については自覚しております）

そこで散々苦しんだ挙句にハタと思いついたのが

医者と患者の「間」を取り持つ「橋渡し役」

という事と敵味方の区別なく看護する国際「間」存在

という解釈でした。

敵味方の区別なくというのは昔クリミア戦争で看護に活躍した「ナイチンゲール」のイメージからです。

余談又はこちらが本編？)

Nutral と打ち込んだらアプリの自動訂正機能で neutral と書き直されていました。元々の発想が tutral=中性からだだったので是では話が違ってくるなと思い、他の nu の意味を今一度探してみました。

すると computer 用語の null 「ゼロ」という言葉を思い出しました。

そこで是を用いて再規定してみると

Nuclear 「最核心」 numeral と number は「ゼロから始まる数字というもの」 nurse は「敵味方の区別ゼロ」となりましたが逆に nuance は何が「ゼロなの？」と分らなくなりました。

で、オーラス(last all)で思いついたのが nuance

「殆どゼロに近い有や無や位の雰囲気又は意味合の差」

という解釈でした。

“Nuance” is quite tiny meaning-difference like a(=as same as) almost “Zero”

At least in Japan

2022/2/12

(オマケの「英語教室」)

I`m living with him



I`m living with him.

「私彼と住んでいるの」

となれば同棲という事でしょう。

もう少し頓智を聞かせた言い方だと

He is my roommate.

「彼は私のルームメイトよ」

女性にとってルームメイトが男性なら、もうそれはそういう事だとすぐわかるので、ちょっと洒落っぽく遠回しに言い換えた表現です。

この辺までは如何にも英語という感じがします。

しかしそれだけでは面白くない。

こういう言い回しを積み上げていってネイティブレベルになることをわが国では第一に推奨されているようですが、それでは英語が母国語である人間の後追いばかりをしていることにしかなりません。

そこで一計を案じてみることにしました。

以前にも少しお話いたしました、日本的な言い回し、それが日常語であっても格言でもことわざでもいいのですが、それを英訳することで面白い英会話ができないか？できれば外国人にとっても新鮮さや意外さを感じられる新しい感覚の英語が、と思ったわけです。

それで今回の

I`m living with him

をわが国ではよくつかわれる言葉

「同じ屋根の下に住んでいるの」

で表してみました。

Under the same roof (or ceiling or ceiling lamp), living with him.

上記の or の最後の奴はちょっと洒落て

「同じ天井の灯の下で済んでいるの」

にしてみました。

試しに英語が母国語ではない在日の English speaker 相手に使ってみましたところ、

「面白い言い方ねえ」

と結構受けはよかったみたいです。

どうせネイティブからみたら異文化の我々日本人が彼らと同等に話そうと言ったところで、他人の土俵で相撲を取るわけですからなかなか首尾よくいく筈ありません。

ならば異文化であることを逆手に取って

Interesting speaking English speaker

になることを試みた方が、創意工夫という只の素材を元に、聞く側にとっても話す側にとってもお互いにメリットがあっていいような気がするのですが、いかがでしょう？

こんなことを言うと「ネイティブ並みに」を旗印に経営をしている多くの英会話学校が不要になってしまう事もありそうですが。

注)

I'm living with him

は正確には

I have been living with him

のようなきもしますが、余計な文法要素を省きわかり易くするためにあえて上記の言い方に致しました。

2022/3/1

(オマケの英語教室)

in front of our restaurant



In front of our curry restaurant in Japan today.

2022/3/2-2

(オマケの英語教室)

In front of our restaurant 2



In front of our curry restaurant in Japan today No.2

2022/3/3

(オマケの英語教室)

In front of our curry restaurant 3



In front of our curry restaurant today in Japan No3

2022/3/3-3

(オマケの英語教室)

Have you ever been



外国のある方から

「君はウクライナに行った事があるの？」

という質問をされました。

多分ここ数日ウクライナ国旗の映った店舗前の写真を投稿していましたので、それをご覧になられて

「何で又、縁遠い日本の、それも片田舎(?)でそんな事、しているのだろう？」

と不思議に思われたからだと思います。

因みに英語で「行った事がありますか？」

は

Have you ever been ….

です。

これは中学の2年か3年生時に完了形の中の現在完了形のバリエーションとして習います。

正確には

「行った事がありますか？」ではなく

「(今迄に) 居た事がありますか？」

でしょう。

往々にして

Have + 過去完了形は「～して「い」た」と訳されるからです。「い」で、ある程度時間の継続を表している訳です。

さて今日のメインストーリーですが、
その方に以下の様な返事をお返し致しました。

Yes. I was a student in Russian literature in Waseda univ. 50 years ago. At the time as a tourist have been in Kyiv 3days. Very beautiful city was, but now destroyed by bombs

Very, very, sad and feel angry

(ええ。自分は 50 年前に早稲田の露文科の学生でした。その折旅行者としてキエフに 3 日程滞在しました。とてもきれいな街でしたが今では爆弾で破壊されております。

とても、とても悲しく怒りを覚えます)

I heard from and watched on TV news show,

Young Ukraine who lives abroad decided to return to Ukraine for fighting.

And ladies in Kyiv started to learn about using way of machine gun from soldiers for fighting.

And additional on, a very little child said we are leaving away Ukraine but my Dad said will stay and fight for guarding our home country. He, little child was crying with tears fully on his eyes. I no hate Russian people, but never can accept Putin.

(テレビニュースで、

外国で暮らしている若いウクライナ人は戦うために故国に戻る決意をした、

とか

キエフの女性は戦うために銃の操作を兵隊たちから習い始めた

とか

とても小さな子が

「僕たちはウクライナを後にするんだ。でもパパは故国を守るために残って戦うと言っていたんだ」

その幼子は目に一杯涙をためてそう言った

とかを

ニュースで見ました。

ロシア国民を憎んだりはありませんが、プーチンを受け入れることはできません)

Around our restaurant, many Ukraine IT engineers of Rakuten company had lived, but almost them moved to Tokyo area before Putin shock. They are vegan and vegetarians and always bought our vegetable curry takeout.

(当店の周りには楽天に勤めている IT エンジニアがたくさん住んでいました。でも大方の人達はプーチンのウクライナ侵攻が始まる前に東京地区に引っ越していきました (まだ何人かは残っていますが) 彼らは皆ベジタリアンで、いつも当店のベジタブルカレーのテイクアウトを買っておりました)

と。

2022/3/6

(オマケの英語教室)

shame

SHAME ON



YOU!

Shame on you.

邦訳すれば「恥を知れ」です。

今日某サイトでニュース記事を見ておりましたらプラカードにそう書かれておりました。

或る「独裁者の蛮行」に対する自国民の抗議のプラカードでした。

自分の経験からすると外国人が「恥」という言葉を使うのをあまり聞いたことがなかったの
でちょっと意外な気がしました。

外国人が使う場合の「恥」は、我々日本人にもなじみ深い「シャイ」

例文で言えば

He is shy

(彼は恥ずかしがり屋さんなの)

という意味での「恥」位でしたから。

この場合の「恥」は「恥」というよりも「臆病」とか「引っ込み思案」要するに「臆する」
「後ずさりする」という意味合いが強く「名誉」や「外聞」の棄損といったニュアンスは含
まれていません。

もし、今回の某「独裁者の蛮行」を恥ずかしく思っている自国民の気持ち

つまり「自分は恥じている」とか「恥ずかしく感じる」という意味の「恥ずかしい」をいい
たければ

I feel ashamed

とか

I'm ashamed

になります。

しかしどうもこの「恥」の（或いは恥に対する）感覚が日本人と外国人ではかなりの違いがあるように感じます。

外国では「恥」という言葉は滅多なことでは出てきません。非常に稀です。出てきたとすればよっぽどの場合です。今回の某「独裁者の蛮行」時のような場合だけです。

（特に「恥」という言葉を自己肯定感の強い外国人のメンタル構造からすると「自分に向けること」は本当に少ないのです）

しかしわが国では行住坐臥、一挙手一投足にこの「恥の感覚」或いは「恥（恥ずかしい行為）のチェックという目線」がほぼ日常的に、どぎつい言い方をすればほぼ「恒常的監視レベル」でついて回っているような気がします。

（そしてそれは、人がチェックしているというより、自分自身が他人目線に成り代わって常に自分が自分を見張っている（チェックしている）というのが実態のような気がします）

自分は以前に12年間に及ぶうつ病罹患経験をしましたが、今思うと

「この日本人特有の「恥と外聞」「未完に対するほぼ罪意識同レベルの縛り」が如何にその回復を遅らせていたか」

を感じます。

実際に回復軌道に乗るにあたっては何のことはない、この

「恥と外聞を捨てる」

即ち

「恥も外聞もありやしねえ。そんなの知った事か。何とでも思ってくれ」

と他人目線と、自分自身が抱えていたチェック目線に対して開き直った途端、物凄く気が楽になり、1か月もたたないうちに12年に渡って蓄積され「もうどうにもならない」と思われていた「抑うつ状態」が悲惨霧消してしまいましたから。

No need feeling ashamed, no need monitoring my own style by other`s eye.

Get away!!

Let you think (=regard to) !! As you like.

That`s all.

注)

ここでの you には others（他人様）の他に my own monitoring eye（自分自身の監視の目）も含まれております。

2022/4/19

(オマケの英語教室)

free



「ウクライナ難民の方は全商品どれでもタダ」
を言うのに free だけでは範囲が広すぎて「タダ」という意味が伝わらない気がしたので敢えて charge を付記して

Charge free

としました。

Charge は英語辞書的には「負荷を与える」ですが自分の感覚では「不足分を注入する」というイメージ。

バスに乗ると「チャージしますか？」と訊かれるアレです。

「では free だとどうなるのか？」

つぶさに好奇心と実験心が湧いてきました。

中学英語では「自由な」と習いました。

その後、街中で「只、無料」という意味でも free を使うのだという事を経験則から学びました。

しかし是では同じ言葉 freeなのに全然意味が違います。

そこで我々は英語辞書的には

Free:自由な、無料の

と覚える訳です。

実際辞書にも①自由な②無料の
等と番号を振って記されております。

こんな風に覚えていくと結構大変な作業量になり英語が嫌になってしまいます。

Free 等まだいい方で get や make, take, have, do 等になりますとそれこそ⑳だの㉕番目だの
の意味がずらざらと記載されていていい加減ウンザリしてしまいます。

そこでもっと覚えるのに簡単で良い方法はないものだろうかと考えておりました処 charge
の概念を見つけたのと同じ流儀で

「一体全体 free の「自由な」と「無料の」に共通するイメージ、概念は何なのかを見つけられ
ばいいんじゃないか。もし見つければそれを応用して他の表現だってできるんじゃないかなら
うか？」

と思い始めました。

それで暫く考えた末に思いついたのが

「制約のない」「縛られない」

というイメージ（概念）でした。

「自由な」も「無料の」も独立した、むしろ「積極的に訴えかける」様な感じですが英語表
現の中には「●●ではない」という、むしろ日本的にはその独立性のなさや消極性を嫌う
反対語従属的且つ否定的表現が結構多いのです。何故かは分かりませんが。

例えば

賛成 agree に対する反対が not agree だったり、お馴染みの例で言えばありがとう thank you
の反対で「いえ、結構です」が no thank you だったりします。

つまりその表現法を逆に日本語に応用してみた処「制約の-ない」と「縛られ-ない」

となった訳です。

ではこの考え方で同じ free を他の場面で別の言葉（英語では一つの概念を夫々の T P O に
合せて使分けしているだけなのですが日本語訳としては別の「単語として」という意味での
言葉）として使えないかを考えてみました。

すると

I'm very free, I have too much free time, quite too much enough!!

私、とても暇なの。時間があり過ぎて、ほんとにウンザリするわ!!

（わたし、制約がなさ過ぎるの。縛りがなさ過ぎて、本当に（糸の切れたタコみたいにどうし
ていいか分らず、却って不安で）いい加減ウンザリしているの）

という TPO で

「暇な」

という意味（単語）としても使える様な気がしてきました。

なので、手前味噌にはなりますが自分の考えでは

「辞書を置かない英語教室」

の方が正解である様な気がしております。

「そんなに多くの単語、覚えなくていいんですよ。同じ単語を TPO で使い分ければ」

2022/4/20-3

(オマケの英語教室)

bilingual



我が国では自分の学生時代から、例えば英語と日本語を話す人をバイリンガル(bilingual)と言ったり英語と日本語とフランス語を話す人をトリリンガル(trilingual)と言ったりしておりました。

最近ではその話者が若い女性である場合には更にバイリンギアル(bilin-gal)とかトリリンギアル(trilin-gal)と言ったりもしております。

長年にわたり又現在でも我が国では普通に使われている「英」単語なので、英語、ウルドゥー語、ヒンディー語を普通に喋る某国大学元英語弁論部出身の従業員に

Then a, you are trilingual

(じゃあ、君はトリリンガルだな)

と言った処よもやの逆質 (問)

What? Trilingual, what the meaning? I have no idea.

(えっ、何?トリリンガルって何の事?分らない)

Ah, you don't know? Trilingual, no? It means 3 language speakers. In Japan we call them like this, although.

(えーっ、知らない?トリリンガル?3か国語を話す人の事だよ。日本じゃそういう人の事、そう呼ぶんだ、けど)

そういえば今迄何か国語かを話す外国人さんには度々接してきましたが確かに彼らの誰一人からもバイリンガルだのトリリンガルだのと言った単語を聞いた記憶がありませんでした。

大抵の場合は上述の様に 2 language speakers や 3 language users とか言っていましたし、其

れよりはもっと具体的に English and Japanese speaker とか English and Nepalese speaker と
言っていた事の方が遥かに多かった事を思い出しました。

いやいや、基。

それどころか多言語国家出身の外国人さんは

「そもそもが、何か国語を喋るか等という発想や認識自体がまるでない様で、その場その場
で必要に応じて必要な数の言語を使っているだけ。特段言語数をカウントしている訳では
全くない」

様でした。

だとすると我が国で古より隆盛を極めている「バイリンガル、トリリンガル」と言った単語
はどこからやってきたのか？

という疑問が湧いてきました。

「さてさて、不可解なる事人生の如し」

それで色々考えてみた挙句に、自分なりの想像から以下の如く推論いたしました。

若者向けのある雑誌記者が日本語の他に英語が喋れる若い女性にスポットを当てた特集を
組もうとした。

しかし「英語を普通に喋れる今時の若い女子」

では長ったらしいしインパクトに欠ける。

更にはこの言い方だと英語が喋れる事を鼻にかけている感じがして反感を買いそうだ。

それでは読者数が増えないから企画自体に意味がなくなってしまう。

となれば是を短く言って尚且ついいイメージの覚え易い言葉はないか？勿論今迄にない奴
で。

そこでこの雑誌記者さんは取り敢えず外大の英語科の教授の処へ赴き、意図を説明した後
で

「先セ、何か打ってつけのいい言葉、おへんやろか？」

(その時代、つまり自分が学生だった頃の 1970 年代にはまだインターネットも google も
ありませんでしたので、まずは思いつく先の先セの処へ行ったのだと思われます)

すると先セは、しばらく考えた後にやおら

「バイリンガル。バイは 2 輪自転車 bicycle の bi で 2 を表すだろ。それに lingual=language
をくっつけて bilingual で、どう？」

「それっ、先セ、其れでんがなあ。流石先セ。イケてまんなあ」

だった、とか？

2022/4/21

(オマケの英語教室)

woman



キャリアウーマン (carrier woman) という言い方があります。

しかし自分の感覚ではこの言葉を聞く度にどうしても違和感を覚えてしまいます。

当然口にすると皆様方が思うであろう「キャリア」の部分にはではなく「ウーマン」の部分に対してです。

何故かと申しますとこの woman という英単語は自分の感覚で恐縮なのですが「女性」ではなく

「女」

と極めて不躰な言い方をしている様にしか聞こえないからです。

キャリアウーマンと耳にすると「経歴女」と言っている様にしか聞こえないのです。

例えば this woman と言えば「この女 (あま)」で this lady と言えば「こちらのご婦人」という感覚の差です。それ位違って聞こえるのです。

我が国のメディア等で carrier woman (キャリアウーマン) と記せば内心では無意識に「職歴豊富な女性」で woman を「女性」と訳している積りなのでしょうが外国の人が聞いたら矢張り「職歴女」にしか聞こえていないのではなかろうかと心配になってしまいます。

例えばキャリウーマン (carrier woman) という文字に接した折に

Carrier scamming (faking) woman 「職歴詐称女」とう犯罪者もどきの輩を外国人さんに連想想起させてしまっているのではなかろうか? 等です。

「ならばトイレで for men (男性用) とか for women (女性用) とか書いてあるけれどあれはどうなるんだ? 理屈に合わないじゃないか」

と言われそうですが、是迄の自分の観察では、ちゃんとしたホテルのトイレには for men や for women ではなく for gentlemen (gents) や for ladies と書かれているか又は男性と女性

を表すイラストマークがついているだけで決して for men, for women とは書かれてはおりませんでした。

しかし確かに街中のトイレには for men とか for women と書かれているのも事実。

では何故そうなっているのか？

是又自分の想像ですがホテルと違って街中、特に英語圏以外の街中ではどんな英語レベルの人が歩いているか分かりません。

そこで gentleman の複数形 gentlemen ならまだしも lady の複数形 ladies だとそれが lady を表している事が分からない方がいらっしやる可能性もあるので、英語が堪能でない或いは日頃余り使わない方にも分かり易い様に敢えて誰でもが知っている可能性がより高い for men, for women と記しているのではなかろうか？など。

因みに洋服は men`s fashion では「男服」に聞こえてしまいますので是は male wear(clothes)の方がいい様な気がします。是なら「男性用ウェア」を意味しますので。

又女性用なら female wear(clothes)の方が耳に優しく素材も柔らかそうに感じられて、より適切で効果的にもいい様な気がします。

処で上述の項で敢えて fashion という英訳をしなかったのですが是は外国の方は個別一品毎の具体的な表現の方が多く余り fashion という謂い方をされない事と fashion というのは昔一部知識人の間で流行った「ファッショ (全体主義)」の語源の様な感覚もあるからで外国の多方面の方からの誤解を避ける上で敢えてこの記事では fashion という語の使用を避けました。

(ファッショの語源が fashion であるか否かに関してはちゃんと調べた訳ではなく飽く迄も自分の感覚からです)

ので、悪しからず。

2022/5/3

(オマケの英語教室)

リアル版開設準備



先にご案内しました白内障の手術は既に終わっているのですが白濁した水晶体の代わりに埋込んだレンズが単焦点で一点以外は焦点が合わず、もう片方の目には更に黄斑変性症が発生しており視界の中心に白球があってその向こう側が見えない等様々な事情から未だ長文を連続的に書くには至ってはおりません。

取り敢えず9日に可変多焦点の仮眼鏡ができてくる事になっており片方の目だけは自由が利く様になりますので其の辺りから投稿を再開したいと思っております。

以上は愚痴交じりの余談。

ここからが本題です。

今を遡る事4年と少し前、ネパール料理「ナマステエブリバディ」を開店致しました。

その時の事業コンセプトが

「国際間、世代間、たまたま隣にいる人との交流事業」

というものでした。

是に従いカレー店の隣に「すすきの留学」という英語教室を同時に開設し

謳い文句を

「カレーを食べながら語学を学ぼう」「日本語が下手な外国人と英語が下手な日本人のへたっぴい同士で教え合いっこしよう」

と致しました。

しかし結果は鳴かず飛ばず。

そうこうする内にコロナ禍襲来やインフレ到来で英語教室スペースは買いだめ食材の倉庫に。

しかし行動制限は解除されたにも拘らずコロナ禍以前の需要は戻っても来ません。

それらをつぶさに目撃した後に中身を細かく観察し

「みんな外食を止め始めている。安い食材や少し高いレトルトを買ってきて更にひと手間加える等多かれ少なかれ自分で調理をし始めている。食事の為だけにレストランに来る回数は激減する。旨いだけじゃ最早存在価値はない」

という結論に至りました。

以前コロナ禍による売上減少打開策としてカレーとは全くジャンルの違うメニューとのコラボ等を模索しておりましたがそれだけでは全くの力不足の様な気がしてきました。

処が本日「焦点の合わない世界が鬱陶しいので最近増えていた午睡」から覚めると、唐突にある考えが浮かびました。

「あれは時期早尚だったのかもしれない。4周回遅れの今こそ、その機が到来したのではないか？」

「その機」というのは「国際間、世代間、たまたま隣にいる人との交流事業」に基づく「カレー屋に併設した英語教室の（再）開設時期」

- ① 教材が出来た（オマケの英語教室記事集「前座の英語」読本）
- ② 外国人側生徒が出来る（外国人従業員が母国の祖母に預けてきた子供達を我が国に呼び寄せる事になった）
- ③ 我が国側生徒が出来る（今回の災禍を経て学歴、肩書よりも実質、中身を重視する子供たちの意識の変化）
- ④ その芽を今迄摘んできた我が国民側の国際間、世代間、隣人間の交流最大阻害要因が見えてきた（何よりも体裁、見た目、肩書中心の「名詞文化」＝対局は●●をするという「動詞文化」）
- ⑤ そして案外みんなが求めているのは「灯台下暗し」の「情の「動詞的」交流」なのではないか？

等。

なので、眼鏡が出来次第その準備を始めようかと思っております。

2022/5/22

(うとQ世話し)

3週間投稿記事が書けなかった事で生まれた「瓢箪から駒」モドキ



「もはやおいしいだけじゃダメだ。何か新しいものを生み出さないと」
それが前回、もう3週間ほども前になりますが「うとQ世話し」の結論でした。
その具体的な方策として

- ① 教科書ができる中身ができた。
 - ② 外国人従業員の子供たちが本国からやってくる。
 - ③ 我が国の若い人たちも「肩書やお免状」よりも「中身だ」とうすうす気づき始めている。
- 等の諸要因から

ならば4年と少し前に構想を抱いた「国際間、世代間、たまたま隣に居合わせた人との交流事業」の具体形として「カレーを食べながらへたっぴい同士教えっこしあう」

「英語教室」を始めようというお話で締めくくらせていただきましたが、3週間字が見えにくい理由からほとんど投稿をしない間に自分の心の中での具体策が変わってきました。

それは

「Easily understandable and speak-able Japanese Language school」

(邦訳：分り易く喋り易い日本語教室)

つまり日本人に英語を教えるより先に外国人に日本語を教えようと、順番を逆転させるに至ったのです。

それは何故か？

その答えは

「日本人が英語を話すことを必要とするより外国人が日本語を話せることを必要としてい

る度合いが遥かに強い事」を身に染みて感じたからです。

そして

「彼らは食らいついてくる」

からです。

われわれ日本人が抱きがちな英語学習の深層目的「英語を話せるとインテリに見てもらえ
るとかカッコいいから」といったようなもので自分が納得いかないものだからです。

彼らの目的は偏に「生活の為。生きていく為。生き抜く為」という極めて切実なもので自分
も納得できるものだからです。

なので、

「先ずはそれ応えるのが当事業の本姿であり自分の趣旨に副うものあろう」

という事に。

しかし何を指して Easily understandable and speak-able と言っているのか？何が今までの
NPO などの日本語教室と違うのか？

それは、

- ① 日本語検定 2 級などのライセンス取得を第一とせず、実際に「話して暮らせる」事を第
一義とする。

もっと絞り込んだ言い方をすると子供を起業家として育てる（語学習得に関しては、雇用希
望者には日本語検定 2 級が求められますが、起業家は話すスキルとノウハウという actual
があればいいだけだからです）

- ② 字ではなく音から入る（具体的には平仮名、カタカナ、漢字と分けずにすべてローマ字
表記から入る）

- ③ 全て原義から入る（何故そういう謂い方をするのか？その字はどうして生まれたのか？
等、日本人の発想法や文化を教える）

等です。

むろん日本人向けの英語教室を諦めた訳では毛頭ありません。

何しろ最後の目的の一つには「多くの日本人が英語を話せるようになる事」をも掲げている
からです。

しかしこちらは現時点では skype (youtube ではなく対面の skype 形式) を用いたオンライ
ン授業にしようかと考えております。

2022/5/23

(うとQ世話し)

さて、what should we do ?



何故英語が世界の公用語になったのか？

英語圏国家が現在世界の覇者であるから？

嘗て大英帝国が世界を植民地化しその母国語が英語だったから？

確かにその面は否めません。

しかし幾ら英語圏国家が政治経済的に優位であったとしてもそれだけで公用語になるとは思えません。

何か他に理由がある気がしました。

それで思い当たったというか、英語を話す様になって実感したのが

「英語が一番汎用性に富み、話者の発想で如何様にも新たに作り出せるフレキシビリティを持っているから」

という事でした。

どこの国のどんな教育レベルの人も話し始められる取っ付き易い言語。

例えば

I go (過去形は went)

是を

I went through and up, down and through again then went more further.

と go の過去形 went の後に思い付ですがずらずらくっつけてみますと

「私は通り抜けた後、上がって下がって又通り抜けてそれからもっと奥に進んだ」という即席の文章が出来上がります。

英語はイディオムをわざわざ覚えなくても話者の機転で連想想起的に幾らでも作り出せる言語なのです。

そして今日の本題はここから。

処が我が国の英語教育にあり勝ちなのは

「是を丸ごとイディオム（暗記文型）化してしまう」

例えば上述の文章の up と down の順番が入れ替わっただけで、

「また別のイディオムを発生させてしまう」

傾向です。

以上は極端にデフォルメした例えですが現実には是に類した事が我が国の英語教育では頻繁に起こっております。

是では学ぶ側は覚えるだけになってしまい、いい加減ウンザリしてしまいます。

「一体英語は幾つイディオム（暗記文例）を覚えにゃいかんのだ？」

少し違うかもしれませんが、是は丁度外国人が

「英語はアルファベット 26 文字だけ覚えればすむのに日本語は平仮名、カタカナ、当用漢字、しめて 2100 が基本文字数。一体いくつ覚えればスタートラインに立てるんだ？」

全てローマ字表記にすれば 26 で済むものを何が何でも 2100 文字の「フル暗記スタート」を押し付ける。

確かに正しくはあるのですが、

「語学はコミュニケーションの道具であり出来るだけ使い勝手を良くすべきものである」という本来の趣旨から見れば阻害要因にしかありません。

この厳格主義が

「日本語の語彙数と同数だけ英単語が 1 対 1 で存在し暗記せねばならぬ」

という珍説拝礼を生み出します。

英語は「核になるイメージだけ決まっている言語」です。

一々個別固有のジャストな適格単語を覚えなくても動詞に前置詞（＝動詞方向付ガイド機能（詞））を付加えるだけでさえ幾らでも語彙を増やせるのです。

反対に言うと英語を母国語にしている外交官は大変です。

日常生活では極めて汎用性に富み大まかですんでいた言葉を外交会議の席上では逆に「ジャストな的確英語を見つけて使わなくてはならなくなる」からです。

そして適格適語思考に満ち溢れた我が国ではこの外交会議の適格適語英語のみを「唯一正しい英語」として鼻から押し付けてきた明治維新後 150 年。

Then, what should we do?

2022/5/27-2

(うとQ世話し)

compromise を妥協と訳すか歩み寄り と訳すかによって…



自分の学生時代に昭和天皇様が記者団の質問に答えて以下の様な事を申されました。

因みに当時陛下は植物の研究者でもあらせられました。

その陛下が答えて曰く

「みなさん雑草、雑草とおっしゃいますが、世の中に雑草というものはないのですよ。雑草には各々に名前がついております。雑草という一括りの種類はないのですよ」

と。

このインタビューを耳にして当時自分は大変なショックと感銘を受けました。

その後そうした目で街中を見てみると

「確かに人間という一括りの存在はないな。歩いているのは男か女か男モドキか女モドキ。それに両性具有の少なくとも5種類が歩いている」

そして

「だのに夫婦は一心同体だという。男と女は体の構造も脳の造りも全然違うんだから完全に同じになれる訳がない。そんなの無理に決まっている。

それを心底肝に銘じれば、一心同体になれなかったからといってすぐさま別れる必要もない。それはそれなりにそう暮らせばいいだけだろうに」

と。

そして更に

「どうも我々日本人は極端から極端に走り過る様だ。一心同体と個々別々との間にその中間だってあるのに。現に外国人はその中間で生きている様な気もするし」

処が我が国の価値観ではこの「中間」という概念を極端に嫌います。

それでこの「中間」は「妥協」とか「どっちつかず」と解される。

曰く

「結婚なんて妥協の産物よ」

と。

英語で「妥協する」は compromise なのですが、この英語には又別の意味があって

A couple compromised

これは

夫婦歩み寄り（夫婦和する）

そういった意味で使われる事もあります。勿論いい意味です。なので、我々が嫌う「中間」は曖昧でもどっちつかずでも優柔不断でも何でもなくむしろ大人の振る舞いとして「いい意味」でもあるのです。

To come closer to center line to each other

Or

To understand on their side situation

なのです。

我が国国民のこの鼻から 100%を求め白黒をはっきりさせたがる傾向は語学教育にも表れております。

来日就労外国人に対しては有無を言わさず一方的な押付けで「日本語をマスターしろ」ですし

我が同朋に対しては「(国際会議レベルの) 完璧英語が話せない限り英語ができるとは言えない」

と。

前者につきましては compromise（歩み寄り）の解釈に従えば

「あなた方は日本語を理解する努力を。私たちは英語が話せる様になる努力をしましょう」

というのが公平公正に双方痛み分けする大人の振る舞いでしょうし

後者につきましては同じ compromise（歩み寄り）の解釈に従えば

「初めから完璧は無理。幾ら間違っても問題ないからまずは分かる処迄やってみましょうか」

という事に。

なので、compromise を成る丈「妥協する」「曖昧にする」のマイナスイメージで使わずに「歩み寄る」とか「痛み分ける」のプラスイメージを抱いて使える様な心象に今後なっていきたいものだと思っております。

語学教育関係に携わる現場実務者と致しましては。

注)

以上は理論というより自分の観察結果によるものです。悪しからず。

2022/5/28

(オマケの英語教室)

unlock



野球では save point というのがあります。抑えのピッチャーが相手に得点を与えずに「抑えた」時に付与されるポイントです。

一方英語では銀行預金の事を savings と言います。ATM 等に記載されているのをご覧になられた方もいらっしゃるかと思います。

これは邦訳では「預金」「貯金」です。

では我が国でいう「預金」や「貯金」を英語では何故 savings というのかと申せば「支出を抑える (=お金を使わない)」という意味で saving(s)を使っている様です。つまり正確には save the payment=(no using money)

以前にも書きましたが我が国では「預金」なら「(増やして貰う為に) 預ける」ですし「貯金」なら「(いざという時に備えて) 蓄える、貯めておく」と前向きや積み上げのな意味で言葉を作るのに対して、英語圏では逆に「使わない、出さない」等「～をしない、～ではない」という言葉づくりが意外と多い様です。

例えば他には「施錠する」が lock であるのに対して「開錠する」が我々からすると以外にも余りに手抜き表現的な作語に思われる unlock であったりします。

一見 positive and optimistic に思われる英語圏文化や思惟において何故「鍵を開ける」という前向きな事にこの様な手抜きの且つ negative and pessimistic な表現が用いられるのか不思議に思っていたのですが偶然にも「言葉の経済 (暗記の効率化)」という概念を得てからある事を連想いたしました。

曰く

「接頭辞や接尾辞を外した語幹の数を極力抑えて」読み手、書き手、話し手の暗記の負担を軽減するのが目的なのではなからうか？と。

例えば施錠が lock である時に、開錠が open とか remove とか loose であると全く別の単語を覚えなくてはならなくなりますが、その否定形の un とか im(or in)とか less といった接

頭辞、接尾辞を付けるだけなら語幹は同じですので、わざわざ全く別の単語を覚える手間や煩わしさが省けるという意味で「言葉の経済」が働いているような気がしたのです。

或いは又別の観点ですが、最近わが国でも注意喚起（特に security 面においての）効果上は「肯定形より被害結果を直截に連想させる否定形を用いた方が、より効果的である」事が数値的に証明され、以降それ迄よりは是迄タブーとされてきた否定形表現が増えて参りました。

例えば

「鍵を掛ける」より「鍵を掛け忘れるな」等の様に。

Lock the key より Never stay unlocked のように。

英語圏でもそれは同じ様で、特に security に関する事項においては上述の様に No と un、否定形を2つも用いる事で注意喚起を促す傾向がある様です。

この様に価値観の観点からだけでみると何事においても前向きな価値観（外向け看板）第一優先の我が国では「否定形」は「肯定形」に対して下位のポジション扱いされますが、実利実行面を考えると時には否定形表現の方が効果的な場合（注意喚起効果と咄嗟の思い出し易さ）もありますので、言葉の「見て呉」に囚われて十把一絡げに「否定形」を「否定」するのはよく考えた方がいい様な気も致します。

Anytime, for anything, one by one, step by step, day by day observing and judging is above all important, I think.

2022/5/30

(うとQ世話し)

清水の舞台から「エイやっ」と



「●まず、日本語の特殊性を心から理解することが
英語を話せるようになる第一歩の様な気がして
おります (何の事はない「灯台下暗し」)

●英語が日本語同様、微に入り際にわたって厳密に
一対一の適格適語な訳語で組立てられていると
無意識に思い込んでいるから英語がわからない様な」

と「辞書を置かない英語教室「前座の英語」」のポスターに本日紹介文を書いておりました
ふと思いついたことがございました。

それは

外国人が日本語習うのは「簡単から難しいへ向かうので大変だろう。しかし日本人が英語を
学ぶのは極めて難しい日本語から極めてラフな英語に向かうので楽ちんだろうに。なのに
「わからない。喋れない」といっている。

何故か？

それは英語学習においては踵を返して反対に簡単な方に歩き出せばいいのに、踵を返さず
に更に難しい方に足を踏み出す(何の疑いもなく視界がそちらの方に向いてしまう)からだ
ろう。進む方向、目をむける方向がまるで反対。これじゃ無理というものだ。

いくら進んでも、いくら探してもたどり着くわけもないし、見つかる訳もない。

だって反対に進んでいるんだから。逆に目を向けているんだから。

と。

これは思い付きで本書発売の直前に書きましたので、詳しくは後日、別稿でしたためてみようかと思っております。

英語学習においては直上述のこの手の「エイヤっ」が必要に思われます。

われわれ日本人はともすると「発言に対して」縦横斜め全てに矛盾なきよう整合性を確認し、しかもその発言が 100%大丈夫だと保証されない限り言葉を発しないようなところがありますが、それではいつまでたっても英会話は無理だろうなあと思っております。

早いところさっさと「清水の舞台からエイヤっと飛び降りなされた方がいい」と思います。

(著者プロフィール)

うときゅう いっき

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

一九五三年東京生まれ。早稲田大学第一文学部ロシア文学科を二回留年の後、卒業。大手電機メーカー商品企画部に二十年間勤務。同子会社経理部等に十六年間勤務。四十歳から五十二歳まで十二年間重度うつ病を罹患。左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊の後、生還。定年退職後、嘱託社員契約を辞して株式会社うとQを設立。趣味は観察すること、考えること、書くこと、カメラの四つのk。著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名に由来する。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。漢字にするとかなり御大層な名前に見えますので、敢えて音読みひらがな表記にしております。

ホームページ：<http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅう いっき

発行人 宇都宮一貴

発行所：株式会社うとQ

〒二一五 - 〇〇一八

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東5丁目34番7号

電話：〇四四 - 九八九 - 一六九八

発 売 株式会社 うとQ

編 輯 ナレッジフォレスト (大竹鉄哉)

カバーデザイン&DTP 製作 ナレッジフォレスト (大竹鉄哉)

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in japan 2020

発行日：二〇二二年六月八日 初版発行

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。

(その他著書)

- 「人生終わったなと思った時に読む本」(二〇一五年刊 ソフトカバー在庫僅少)
- 「人生終わったな」と思う間もなくトンネルの闇を抜けて広野原(二〇二〇年刊 amazon)

kindle)

- 「コロナ禍 同時進行執筆 ナマステ別館堂主人「ニューノーマル探索サバイバル日記」二〇二〇年春の巻～十二月の巻」(二〇二〇年刊 amazon kindle)
- 「コロナ禍 同時進行執筆 ナマステ別館堂主人「二年目の ニューノーマル探索サバイバル日記」二〇二一年一月の巻～十月 最終巻」(二〇二一年刊 amazon kindle)
- コロナ渦 初年度 カリー屋ナマステ別館堂主人「ニューノーマル探索サバイバル日記」(二〇二一年刊 amazon kindle)
- (初本) カリー屋ナマステ別館堂主人 掌編小説集「冬のひまわり」(二〇二〇年刊 amazon kindle)
- (改訂本) カリー屋ナマステ別館堂主人 掌編小説集「冬のひまわり」(二〇二〇年刊 amazon kindle)
- コロナ渦カリー屋ナマステ別館堂主人 掌編小説集「子、親を選べず」三部作 (二〇二一年刊 amazon kindle)
- コロナ渦カリー屋ナマステ別館堂主人 掌編小説集(合本)「子、親を選べず」新四部作 (二〇二一年刊 amazon kindle)
- コロナ渦 カリー屋ナマステ別館堂主人「ニューノーマル探索サバイバル日記」二〇二一年 上半期(合本)
(二〇二一年刊 amazon kindle)
- コロナ渦 カリー屋ナマステ別館堂主人「ニューノーマル探索サバイバル日記」二〇二一年 度(合本)
(二〇二一年刊 amazon kindle)
- ネパールカリー屋「ナマステ」別館堂&英語教室「すすき野留学」主人
辞書を置かない考える英語教室「前座の英語」Pre & Prep. English 第1集～第8集)
(二〇二二年刊 amazon kindle)
- 線路は続くよ、何処までも 野を越え山越え谷越えて その一、その二
(二〇二一年刊 amazon kindle)
- 線路は続くよ、何処までも 野を越え山越え谷越えて 合本
(二〇二一年刊 amazon kindle)
- 短編小説「明暗明暗」
(二〇二一年刊 amazon kindle)
- うつ病ドロンパッ読本
(二〇二一年刊 amazon kindle)
- (改訂原本) 声あげ Is it true?
(二〇二二年刊 amazon kindle)
- 続 声あげ Is it true?
(二〇二二年刊 amazon kindle)

●尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用しております。当社には著作権、版權は全くない事を明記させて戴きます。